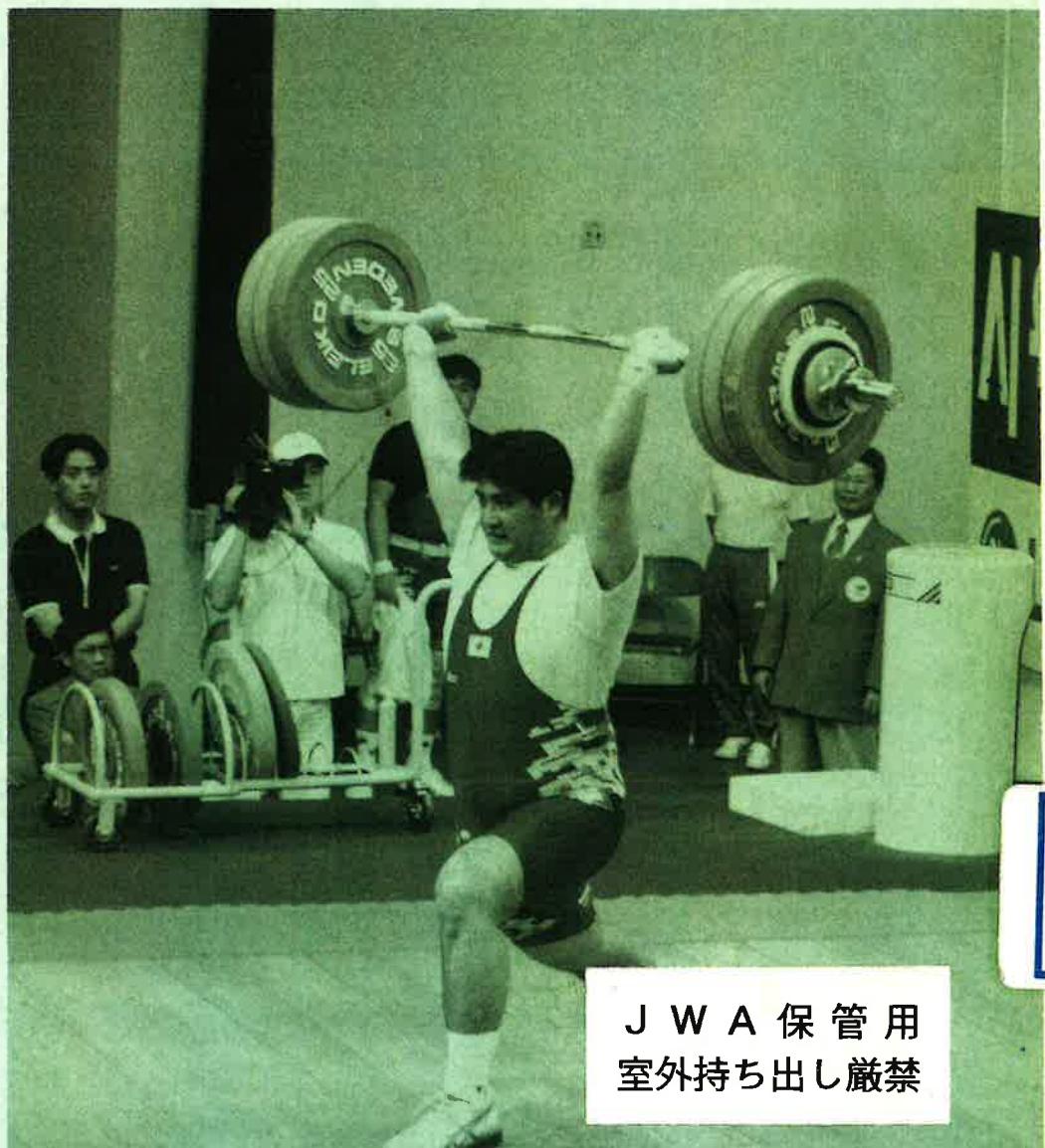




Japan Weightlifting Association

ウェイトリフティング



1996 No. 68

ウェイトリフティング No.68

目 次

「力」の民話・伝説	2
創立60周年記念式典祝う（社団法人 日本ウェイトリフティング協会）	5
第17回 JOC杯ジュニア全日本選手権大会	7
第12回全国高等学校選抜大会	11
選抜優勝者3人を出した日川高校	15
クローズアップ「ヤングスター」	16
第43回全日本学生個人選手権大会	18
第9回全日本女子学生選手権大会	22
トレーニング・クラブ紹介	23
第2回東アジア大会（ウェイトリフティング競技）	25
（男女世界記録）（男女ジュニア世界記録）（男女アジア記録）	
日本公認記録一覧	35
国内・国外競技会予定	40
賛助会員のお願い	42
賛助会員紹介	44
第27回オリンピック競技大会について	45
国際大会・全国大会開催地一覧表	47
日本ウェイトリフティング協会の沿革	49
協会60年史購入申込について	53

表紙写真：第2回東アジア大会+108kg級3位入賞した青木延明選手（鹿沼商高教員）のジャーク 197.5kg

「力」の民話・伝説 (2)

J W A 会長 日本大学教授 林 克也

旧約聖書の大力男「サムソン」

いわゆる「大力」話しさは、洋の東西を問わず古くから数多く伝えられてきた。

前回は神話のなかから、東を代表して「天の岩戸」に登場してくる天手力雄命を取りあげたが、古い歴史を誇る中国やインド、そしてアジア諸国にも同種の伝説が多く残っていることはよく知られている。これらについては機会をみて記述したいと思っているが、今回は西を代表する神話のなかから、旧約聖書のなかの力持ち「サムソン」を取りあげることにする。

サムソンはよくバビロニア・アッシリア神話のギルガメシュや、ギリシャ神話のヘラクレスなどと比較されることが多いが、怪力を得て異教の神殿の柱を折ってすべてのペリシテ人を殺害する場面は、まったく他の追随を許さない壯大さである。

私は聖書については常識程度を知るにすぎないが、旧約聖書のなかで歴史的にも人間的にも楽しく語られているサムソンのところは特に興味がわく個所である。ところが聖書研究者の多くは、この部分に関してあまりかんばしくない評価なのである。サムソンファンの私としては誠に残念に思っている次第である。

サムソンは多くの芸術家から主題として取りあげられ、著名な芸術作品が沢山のこされている。例えば、ローマ、ラティナ街道のカタコンベの壁画（4世紀）や中世紀以降は聖書写本挿絵などでみることができる。画家ではファン・ダイク、伦勃朗、ルーベンスなどが素材にしている。彫刻家ギベルチ、劇作家ハンス・ザックスも作品にしている。とくにミルトンの叙事詩〈闘士サムソン〉は有名である。音楽作品ではヘンデルのオラトリオがある、なかでもサンス作曲の歌劇〈サムソンとデリラ〉は魅力ある旋律と色彩ゆたかな管弦楽法によって多くの人に親しまれ、日本でも東京帝国劇場が1927年4月30日ロシア歌劇団によって初演されている。

映画では、1949年製作のアメリカ映画〈サムソンとデリラ〉がセシル・B・デミル監督のもと、サムソンがビクター・マチュア、デリラがヘディ・ラマールの配役でスペクタル大作として上映され、その後のいわゆる「聖書もの」の契機となり大型スペクタル映画流行の先駆けたといわれている。

なお、大力男サムソンを演じたビクター・マチュアはウエイトリフティングの競技歴があつたと伝えられており、役者になった当初は hunk (肉の塊) と呼ばれたりもした。

ところで映画といえば、前号で取りあげた神話「天の岩戸」伝説も東宝が映画化している。

戦前ではとても考えられないことだ。この映画のなかで怪力無双の天手力雄命を演じたのがだれだったか、いま思い出せないのであるが、天照大神役は戦前戦後を通じての大スター原節子であった。現在、鎌倉に住んでいると聞いているが、彼女はこの映画を最後に銀幕から消えてしまった。まさに天の岩戸隠れである。

サムソンは旧約聖書（士師記13～16章）に出てくる士師の一人で、ペリシテ（フィリストア）人との戦いに神の申し子として豪勇、怪力をもって活躍する超人的な力をそなえた伝説上の英雄である。

物語は大略四つの部分からなるが、主に最後のサムソンとデリラに力点をおいて略記する。

第一、サムソンの誕生

イスラエルの最も恐れる強敵は、隣国の獰猛なペリシテ人集団であった。イスラエル人は常に劣勢であったため、英雄の出現を久しく待望していた。

イスラエル人アノマは、永い間、子供にめぐまれない石妻（うますめ）の母であったが、神授をえて一人の男子サムソンが生まれる。子は胎内においてすでにモーゼの律法に記される「神に捧げられた者」すなわちナジル人であり生涯にわたって髪を切ってはならないと告げられる（当時、髪は力の宿るところと考えられていた）。因にサムソンとは太陽の意である。

やがて彼はたて髪をなびかす獅子のように力が溢れる精悍な若者に成長する。

第二、サムソン、獅子と闘う。

サムソンは長じてペリシテ人の娘に恋する。両親はイスラエルの敵であり異邦人である娘との婚姻には強く反対するが、サムソンはそれを押し切って、娘の住むティムナ村に向うその途中、獅子に襲われるがこれを小山羊でもひねるように倒す。

娘との結婚は成り、30人の花嫁の介添人役が出席して宴となる。このとき当時の風習の一つであった謎かけをするが、介添人達は謎が難ずかしく解けないため、娘（妻）をそそのかして答えを引き出す、サムソンは妻に裏切られたことに腹を立て、30人の介添人達を殺して帰村してしまう。しかし、やがて怒りもおさまったので、妻のもとにもどると、彼女はペリシテ人達にそそのかされ、すでに再婚していた。サムソンは大いに怒りペリシテ人を大勢殺してしまう。

第三、サムソン、1,000人を倒す。

ペリシテ人達は復讐にもえ、ユダを攻撃するとともに、イスラエルに対してサムソンの引き渡しを要求する。弱体なイスラエル人達は闘うすべも気力もないため、サムソンをペリシテ人達の要求どおり縛り差し出す。ペリシテ人達は自分らの陣であるレビの村にサムソンを連行するが、その瞬間、彼は縛を引き切り、道端に落ちていたロバの骨をひろって1,000人を打ち殺してしまう。残ったその他のペリシテ人の群衆は先きを争って逃げてしまったため村は瞬時に無人と化するが、そんななかサムソンは何ごともなかったかのように鼻歌まじりで帰郷していくのである。

旧約聖書の士師記では、その後のサムソンについて、「20年間にわたって士師としてイスラエルを導いた」と簡略に述べているにすぎず、士師としての活躍は具体的になにも記されていない。

第四、サムソンとデリラ

第一、二、三で登場するサムソンは、なにか粗暴な人物の感をまぬがれないところがあるが、最終場面で神の力を回復させて、敵のペリシテ人すべてをまっ殺してしまうところは圧巻である。その結まつの経過をつづる。

サムソンは再びペリシテ人の美女デリラを熱愛する。ペリシテ人の長老達は強敵サムソンを倒す好機とばかり、デリラに金品を贈りサムソンの嫁になると彼の怪力の秘密を探らせる。

サムソンは当初、デリラに本当のことを明かさず二度にわたって難をさけるが、三度目はどうとう女の涙に負けて「私は神から聖別されたナジルで、神が宿る髪を一度も切ったことがない」と告げてしまう。あるときサムソンは油断してデリラの膝を枕に眠っているとき彼女に頭髪を根元から切られてしまう。

頭髪を切られ神通力を失ってしまったサムソンはペリシテ人の男達に難なく捕まり、両眼をえぐりとられた上、奴隸としてガザの地に引き立てられていく。そこでは青銅の足かせをかけられ、毎日牛馬のごとく臼を引かされ、力が尽きたころは殺される運命となつた。

ペリシテ人の長老達は「われわれの神ダゴンが、サムソンを捕まえてくれた」として、神に感謝する酒宴が神殿に主要な人物を含む3,000人を集めて行なわれた。飲めや歌えの宴が高まつたところで、それに興をそえるためサムソンは衆人の前に引き出され、挽き臼のまねやロバの鳴きまねをさせられたりのなぶりものになる。途中サムソンは大変疲れたふりをして、巨大な神殿を支える二本の柱に寄りかかり休むことを願い出た。もうこのころは頭髪も少し伸びてきており、力はよみ返っていた。嘲笑のなかで休むことを許されたサムソンはイスラエルの神に祈った、「私に、神力を与え賜え」そして神殿広場の家屋を支える二本の柱を渾身を込めて倒すと、神殿は地響を立てて崩れ落ち、すべてのペニシテ人はその下敷となって死体の山を築くことになる、同時に残念なことにサムソンも犠牲となる、しかし、やがて死体は親族が引き取り父の墓に葬られたのである。

以上、旧約聖書よりサムソン物語を四つに要約したが、このところは犬養道子「旧約聖書物語」(1977年12月10日新潮社)と池田敏雄「旧約聖書を読む」(1992年7月10日サンパウロ)をもとにしたものである。旧約聖書の日本語訳は他にも数多くあるが、その内容にはそれぞれ特徴と差異がある。しかし、この要約に関しては概して共通に語られているところであり誤りはないと考える。

なお、前段の部分はいろいろと資料を探し求め記述したつもりだが、まだまだの感が残っている。

協会60周年記念祝う

韓国「大韓力道連盟」からも



60周年記念式典会場風景



(社)日本ウエイトリフティング協会会長
林 克也

平成9年3月21日（1997年. 3. 21）

（社）日本ウエイトリフティング協会では、創立60周年記念式典が行われた。招待者等約300名の中には大韓力道連盟から韓副会长、季副会长ほか2名がかけつけ、昭和初期以来、共に競い合った労苦と栄光を喜びあった。式典では林克也日本ウエイトリフティング協会会长から、永年協会の発展に物心両面の協力をされた関係者の皆様に感謝状が、20年以上各都道府県協会、日本協会に尽力された方々に功労賞が、オリンピック・アジア大会及び世界選手権大会の活躍、全日本選手権等で5回以上優勝した選手及びO Bの皆様に優秀選



大韓力道連盟 韓 基 豊副会長（左）

手賞が贈られた。

勿論、韓国協会にも感謝状が贈呈され、韓・季副会長に壇上で林克也会長から手渡された。

功労者の中には、昭和初期は言うまでもなく第1回全日本選手権出場の小山高栄氏夫妻、日本重量挙界のパイオニアの一人飯田定太郎氏、日本重量挙オリンピック代表として2回目のメルボルン大会で6位（バントム級-56kg級）入賞の南部良雄氏、東京の第3回アジア大会でやはりバントム級で優勝した小暮茂夫氏、三宅義信氏と同じ国民体育大会（東京）でライト級でクリーン・アンド・ジャーキー160

春うらゝ 六十路の坂を 伸びゆかん



表彰・大分県会長 佐藤文生氏

kgの世界新を樹立した山崎弘氏、女子世界選手権大会で初の銀メダルに輝いた植村ひろみ氏らが含まれ、列席した同僚との再会を喜んでいた。

約15分の休憩の後祝賀パーティに移り、各テーブルでは昭和初期から平成9年まで、それぞれの時代日本ウエイトリフティング協会の役員・選手として、また協力者として協会発展を支えた方々が懇親を深められた。

この60年間、東京・メキシコ・オリンピック時をピークに金メダル2個、銀メダル2個、銅メダル8個、世界選手権では三宅義信（Fe級-60kg）6連勝、大内仁（M級-75kg）優勝、三宅義行（Fe級）優勝2回、細谷治朗（B級-56kg）優勝のほか、数々の世界記録樹立者を生んでいる。最後に沖縄協会長の挨拶、万歳三唱があり、盛会裡に日本ウエイトリフティング協会60周年行事は終了した。

この60年の歩みは「日本ウエイトリフティング協会60年史」として近く発刊される。

編集委員。



明治記念館前で。（左から）李副会長、専務理事、林会長、金広報部長、韓副会長、桜井専務理事、山本勝人氏

JOCジュニアオリンピックカップ 第17回全日本ジュニア選手権大会

1997年（平成9年）3月15・16日 埼玉県上尾スポーツ研修センター

第23回世界ジュニア選手権大会選考会を兼ね、平成9年3月15日、16日、埼玉県立スポーツ研修センターで第17回全日本ジュニア選手権が開かれた。大会は今年5月末～6月初め南アフリカ連邦ケープタウンで開催される第23回世界ジュニア選考会も兼ね行われた。

今大会には昭和11年（1936年）、第1回全日本重量挙選手権大会出場の小山高栄氏もかけつけ熱心な応援を送り、孫ほど年令がちがう優勝者に林克也会長協力のもと、メダルを贈呈した。

競技会は54kg級から+108kg級まで47名が参加し、特に54kg級菊妻、59kg級矢野、70kg級中條3選手に期待が集まった。

54kg級菊妻はスナッチ1回目90kgに失敗したが95kgジャーク122.5（大会新）トータル217.5kg（大会新）で優勝した。

59kgは矢野、上野（大商大）、佐藤（中大）、八坂（明大）の接戦となったがジャーク132.5kgに成功した矢野が優勝した。

64kg級は崎村（明大）、鈴木（崇）（中大）が同記録で1、2位となり二人が世界に選ばれた。



優勝者に賞状を贈呈する
小山高栄氏（右）と林会長

各級優勝者一覧表

クラス	氏名	学 校	合計記録
54kg	菊妻 康司	相生産業高	217.5kg
59kg	矢野 博志	出雲農林高	227.5kg
64kg	崎村 公貴	明治大学	247.5kg
70kg	中條 桂良	前橋育英高	275.0kg
76kg	古谷 竜彦	法政大学	267.5kg
83kg	猪狩 慎悟	日本体育大学	257.5kg
91kg	平良 一悦	法政大学	305.0kg
99kg	日下 宗晃	日本体育大学	290.0kg
108kg	村山 厚史	前橋育英高	287.5kg
+108kg	樋口 忠之	中央大学	312.5kg

70kg級中條はS122.5（高校新）J152.5（高校新）T275kg（高校新）の6回成功で優勝した。

76kg級古谷（法大）、83kg猪狩（日体大）が優勝、91kg級平良（法大）は305kg（大会新）で4度目の世界が決まった。

108kg級村山（前橋育英高）、+108kg樋口（中大）が福田（埼玉栄）に5kg差をつけT312.5kgで優勝したが世界には届かなかった。

大会全般として菊妻、中條の強さが目立つ結果となり2人の将来に大きな期待がかかった。

その競技会終了後の世界ジュニア選手権大会日本代表選考会が強化委員会で審議され
54kg 菊妻康司（明大） 鈴木基樹（中大）
59kg 矢野博志（日大）
64kg 崎村公貴（明大） 鈴木崇浩（日大）
70kg 中條桂良（中大）
91kg 平良一悦（法大）
以上7人が決定した。



54kg級表彰する林会長（左）鈴木（2位）菊妻（1位）山川（3位）



64kg 級優勝 崎村、ジャーク140kg(2回目成功)

JOCジュニアオリンピックカップ 第17回全日本ジュニア選手権大会

●平成9年3月15日 [54kg級~75kg級] ・ 16日 [83kg級~+108kg級]

●埼玉県立スポーツ研修センター（上尾市）

54Kg級

順位	氏名	都道府県名	所属	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト		トータル		
						1	2	3	1	2	3	スナッチ	ジャーク			
1	菊表 康司	兵庫相生産業高校	1978	53.60	90	×	90	95	120	122.5 CS	128	×	95	122.5	217.5 CS	
2	鈴木 基樹	東京中央大学	1977	53.45	90		95	100	120	125	×	125	×	95	120	215
3	山川 沖	沖縄明治大学	1977	53.65	95		100 CS	103	×	107.5	112.5		117.5	100	112.5	212.5
4	小野 剛義	愛知大阪商業大学	1978	53.40	87.5	×	87.5	90	110	115		117.5	90	115	205	
5	山田 政晴	群馬前橋育英高校	1980	53.85	85	×	85	85	115	120		125	85	120	205	
6	芳賀 寛蔵	山梨日本大学	1977	54.00	90	×	90	92.5	122.5	112.5		117.5	90	112.5	202.5	

59Kg級

1	矢野 博志	島根出雲農林高校	1978	58.80	95		100	×	100	×	125	132.5	×	132.5	95	132.5	227.5
2	上野 修	愛知大阪商業大学	1978	58.20	100		105	×	105		120	122.5	×	122.5	105	120	225
3	佐藤 宏樹	秋田中央大学	1977	58.60	100		105		107.5	×	120	122.5	×	122.5	105	120	225
4	八坂真太郎	大分明治大学	1977	58.55	100	×	100		105	×	122.5	122.5		127.5	100	122.5	222.5
5	原田 武弘	大分明治大学	1977	58.90	92.5		97.5	×	97.5		100	110		120	97.5	120	217.5
6	吉田 茂則	埼玉拓殖大学	1977	58.80	105	×	105	×	105	×	(半)	—	—	—	0	—	—

64Kg級

1	崎村 公貴	熊本明治大学	1977	62.90	105	×	105		107.5	140	×	140	147.5	107.5	140	247.5
2	鈴木 崇浩	山梨日本大学	1977	63.80	110		112.5		115	135	×	135	137.5	112.5	135	247.5
3	日名 康嗣	岡山倉敷商業高校	1977	63.40	102.5		107.5		110	125	×	125	130	110	130	240
4	大濱 朝二	沖縄沖縄尚学高校	1978	63.75	110	×	110	×	110	130		132.5	135	110	130	240
5	岩岡 怜	広島海田高校	1978	63.65	100		105		110	130	×	130	130	105	0	—

70Kg級

1	中條 桂良	群馬前橋育英高校	1978	68.90	115		120		122.5 HS	145		150	HR	152.5 HR	122.5	152.5	275 HR
2	鈴木 英治	愛知愛知工大名電高校	1978	68.50	105		110	×	110	130		135		137.5	110	137.5	247.5
3	白井 英和	埼玉自衛隊体育学校	1977	68.95	105		107.5		110	130		135		137.5	107.5	135	242.5
4	渡辺 一也	埼玉自衛隊体育学校	1977	70.00	105	×	105		110	130		135	×	135	105	130	235
5	敦賀 友三	北海道明治大学	1978	67.85	100	×	100		(半)	120		(半)	—	—	100	120	220

76Kg級

1	古谷 龍彦	山梨法政大学	1977	75.60	115		120	×	120	×	147.5	152.5		157.5	115	152.5	267.5
2	橋本 丈	埼玉埼玉栄高校	1979	75.45	110		115	×	115	145	×	145		147.5	115	145	260
3	橋口 葦	山梨法政大学	1977	73.30	110		115	×	115	140		145	×	145	115	140	255
4	慶田 英作	沖縄沖縄工業高校	1978	74.20	100		107.5		112.5	130		135		140	112.5	135	247.5
5	熊川 大	熊本鎮西高校	1978	71.45	102.5	×	102.5		107.5	132.5		132.5		137.5	102.5	132.5	235
	木村 剛	熊本拓殖大学	1977	76.00	120	×	120	×	120	135		140	×	140	0	135	—

83Kg級

1	猪狩 慎吾	東京日本体育大学	1977	81.90	110		115		117.5	135		140		142.5	115	142.5	257.5
2	諏訪 忠	熊本鎮西高校	1978	82.60	112.5		117.5	×	117.5	137.5		142.5	142.5	112.5	137.5	—	250

91Kg級

1	平良 一悦	沖縄法政大学	1977	90.75	130		135	×	135	×	170	175 CS	180	×	130	175	305 CS
2	青木 純範	栃木日本大	1977	83.40	120	×	120	×	120		165	170	×	170	120	165	285
3	山田 純久	山口明治大学	1978	88.30	115		120		122.5	150		155	×	155	122.5	150	272.5
4	清水 良隆	千葉中央大学	1977	85.20	115		120	×	122.5	145		152.5	152.5	115	145	260	

99Kg級

1	日下 宗晃	徳島日本体育大学	1977	96.25	120		125		130	×	160	165		170	×	125	165	290
2	石嶋 智	沖縄中部工業高校	1978	94.60	107.5		112.5	×	112.5	142.5		145		147.5	107.5	147.5	255	

108Kg級

順位	氏名	県名	都道府	所属	生年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト		トータル
							1	2	3	1	2	3	スナッチ	ジャーク	
1	村山 厚史	群馬	前橋育英高校	前橋育英高校	1978	102.45	120	125.5 HR	127.5 HR	152.5	161 HR	165 ×	127.5	160	287.5 HR
2	天野 洋平	山梨	立教大学	立教大学	1977	100.95	120	125 ×	125	150 ×	150 ×	150	125	150	275
3	宮崎 広勝	群馬	群馬工業高専	群馬工業高専	1978	106.15	117.5×	120	126 HR	150	157.5×	157.5×	125	150	275

+108Kg級

1	橋口 忠之	東京	中央	大学	1977	131.75	135	140	145 ×	160	167.5	172.5	140	172.5	312.5
2	福田 行延	埼玉	埼玉	栄高校	1978	113.35	130	135 ×	135	165	172.5 HR	177.5×	135	172.5	307.5
3	伊藤 卓	愛知	日本	体育大学	1977	114.90	125	130 ×	130	160	165	170 ×	130	165	295
4	尾崎 龍太	香川	日本	大学	1977	124.70	115	120	125	150	155	160 ×	125	155	280
5	渡部 遼太	鳥取	日本	体育大学	1977	113.95	117.5	122.5×	122.5	152.5×	152.5	157.5×	122.5	152.5	275
6	星嘉 拓三	沖縄	沖縄	工業高校	1979	117.95	115 ×	115 ×	115	150	157.5	162.5×	115	157.5	272.5

第12回全国高等学校選抜大会

第12回全国高等学校選抜大会は3月28日～29日の2日間兵庫県尼崎市記念公園総合体育館において全国から選ばれた男子79名女子28名の高校生で熱戦が展開された。

各選手とも自分達が高校最上級生になった自覚と責任でいっぱい。女子は好記録が続出幸先良いスタートとなった。

会場には高校生初の全国大会とあって東京はじめ関西の有力大学生も応援にかけつけセコンドは勿論精一杯の激励が行われていた。

本年度高校選抜大会は地元兵庫県関係者の

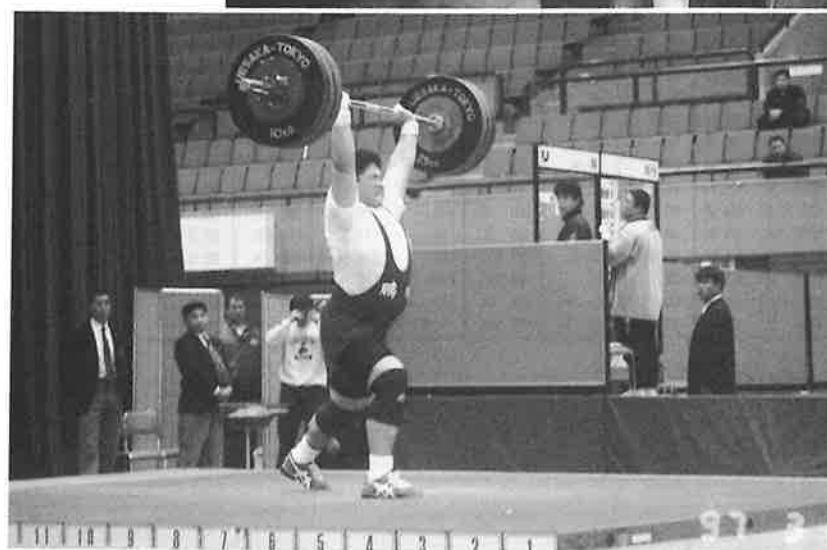
絶大な努力で会場、特にプラットホームは特殊なマットが敷かれ（スリップ防止）スマートそのもの。競技会運営も高校生らしく、テキパキと進められ素晴らしい競技会となった。

夢多き高校生は本大会の経験をふまえ8月の全国高校総体には見違えるほど強く大きくなるものと確信いたします。兵庫県関係者、審判のためかけつけた全国の先生、運営補助にあたった、学生、選手の皆様に感謝いたします。

54kg左から →
能戸（石川）2位
山田（群馬）1位
横井（大阪）3位



← 91kg優勝佐藤彰紘
宮崎鵬翔高校
ジャーク140kg



第12回全国高等学校選抜大会

●平成9年3月28日【男子54kg級～70kg級・女子全階級】・29日【男子76kg級～+108kg級】 ●尼崎市記念公園総合体育館

【男子】

54kg級

順位	氏名	県名	学校名	生年	学年	体重	スナッチ			クリーン＆ジャーク			ベスト		トータル
							1	2	3	1	2	3	スナッチ	ジャーク	
1	山田 政晴	群馬	前橋育英高校	1980	1	53.56	85	90 ×	90	115 CS	120 ×	120 CR	90	120	210 CR
2	能戸 久嗣	石川	津幡高校	1979	2	53.98	85	90 ×	90 ×	105	110	112.5	85	112.5	197.5
3	横井 卓哉	大阪	大阪工大高校	1980	2	53.40	82.5	85	87.5 ×	105	110 ×	110 ×	85	105	190
4	甘利 秋月	山梨	日川高校	1979	2	53.40	77.5	82.5 ×	82.5 ×	105	107.5	115 ×	77.5	107.5	185
5	宮本 豊洋	京都	加悦谷高校	1979	2	53.56	85	90 ×	90 ×	100	105 ×	105 ×	85	100	185
6	三倉 康司	和歌山	和歌山工業高校	1979	2	53.98	85 ×	85 ×	85	100	102.5 ×	102.5 ×	85	100	185
7	森川 孝司	三重	石塚師高校	1979	2	52.94	72.5	77.5 ×	77.5	92.5 ×	92.5	97.5	77.5	97.5	175
8	谷野 勝美	岡山	倉敷商業高校	1980	2	53.32	75	80 ×	80 ×	100	105 ×	105 ×	75	100	175
9	千代田宏志	福岡	筑紫台高校	1979	2	52.26	72.5 ×	72.5	77.5 ×	95	100	107.5 ×	72.5	100	172.5
10	佐藤 敏則	福島	川俣高校	1980	2	53.98	75	80 ×	80 ×	92.5	97.5	100 ×	75	97.5	172.5

59kg級

1	今村 俊雄	山梨	日川高校	1979	2	56.94	85	90	95 ×	125 CS	130 CR	135 HR	90	135	225
2	清水 幸夫	埼玉	埼玉栄高校	1979	2	58.88	90	92.5	95	110	112.5	115 ×	95	112.5	207.5
3	橋本 幸洋	石川	珠洲実業高校	1980	2	58.10	85	87.5	90	110	112.5 ×	112.5 ×	90	110	200
4	亀山 敬司	香川	香川中央高校	1979	2	58.72	85	90	92.5	100	105	107.5	92.5	107.5	200
5	柳原 賢治	愛知	愛知工大名電高	1979	2	58.44	85 ×	85	87.5	107.5	110	112.5 ×	87.5	110	197.5
6	伊藤 弘将	兵庫	明石南高校	1980	2	57.52	85	87.5 ×	87.5 ×	105	110 ×	110	85	110	195
7	具志堅尚也	沖縄	南部工業高校	1980	1	58.50	87.5	90 ×	90	105	110 ×	110 ×	90	105	195
8	佐藤 正樹	秋田	海洋技術高校	1980	2	58.70	85 ×	85	90	105	110 ×	110 ×	90	105	195
9	市東 雅貴	山梨	吉田高校	1979	2	58.66	80 ×	80 ×	82.5	100	105	110 ×	82.5	105	187.5
10	速水 雅浩	熊本	鎮西高校	1980	1	57.82	77.5	82.5 ×	82.5 ×	102.5 ×	102.5 ×	105	77.5	105	182.5
	村尾 雄次	兵庫	淡路農業高校	1979	2	57.04	87.5	90 ×	90 ×	107.5 ×	107.5 ×	107.5 ×	87.5	0	—
	黒田 武志	大阪	大阪工大高校	1979	2	57.42	80 ×	80 ×	80 ×	(半)	—	—	0	—	—

64kg級

1	古屋 政樹	山梨	日川高校	1979	2	62.58	95	100 ×	100	125	130 ×	130 CS	100	130	230
2	近藤 伸次	北海道	士別商業高校	1979	2	62.14	97.5	100	102.5 ×	122.5	127.5 ×	127.5	100	127.5	227.5
3	堰川 康信	青森	八戸工大第一高	1980	2	61.56	92.5	97.5 ×	97.5	120	125 ×	125 ×	97.5	120	217.5
4	石原 知典	大阪	大阪工大高校	1980	2	63.32	95 ×	95 ×	95	115	120	125 ×	95	120	215
5	波平 尚也	沖縄	南部工業高校	1979	2	62.26	90	95 ×	95 ×	122.5	127.5 ×	130 ×	90	122.5	212.5
6	會沢 哲生	茨城	土浦日大高校	1980	2	62.10	85	90	92.5	107.5	112.5	115 ×	92.5	112.5	205
7	越田 和慶	長崎	諫早農業高校	1980	2	63.00	90 ×	90	95 ×	110	115 ×	115 ×	90	110	200
8	片山喜久治	埼玉	吉川高校	1980	1	63.64	85	90	92.5 ×	110	115 ×	115 ×	90	110	200
	後藤 貴秋	秋田	秋田経法大附高	1979	2	63.08	90	95 ×	95 ×	(半)	—	—	90	—	—

70kg級

1	木曾川 章	山梨	日川高校	1979	2	68.94	105	110	112.5 CS	130	135	140 CR	112.5	140	252.5 CR
2	上原 立誠	沖縄	糸満高校	1979	2	68.88	100 ×	100 ×	100	125 ×	125	130	102.5	130	232.5
3	菊池 旭	埼玉	埼玉栄高校	1979	2	69.26	97.5	100	102.5	117.5	122.5	127.5 ×	102.5	122.5	225
4	大垣 公滋	滋賀	堅田高校	1979	2	66.72	95 ×	95	97.5	120 ×	120 ×	120	97.5	120	217.5
5	東村 良滋	滋賀	安曇川高校	1979	2	68.94	87.5	92.5	95	115	117.5	122.5 ×	95	117.5	212.5
6	高橋 弘樹	兵庫	舞子高校	1979	2	67.74	92.5	95	97.5 ×	115	120 ×	120 ×	95	115	210
7	島 光一	福島	田村高校	1981	1	68.92	90	95	100 ×	115	120 ×	120 ×	95	115	210
8	平 賢治	宮崎	小林高校	1979	2	69.80	90	92.5	95 ×	115	117.5	122.5 ×	92.5	117.5	210
9	岡部 孝志	徳島	徳島工業高校	1979	2	69.00	92.5 ×	92.5	97.5 ×	110	115	120 ×	92.5	115	207.5
10	澤田 芳弘	兵庫	明石南高校	1979	2	67.06	85	90	92.5 ×	115	120 ×	120 ×	90	115	205
11	岩男 太	福岡	筑紫台高校	1980	2	68.96	90	95 ×	95 ×	110 ×	110 ×	110	90	110	200
門	裕介	香川	多度津工業高校	1979	2	68.56	95 ×	95 ×	97.5 ×	(半)	—	—	0	—	—

76Kg級

順位	氏名	県名	学校名	生年	学年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト		トータル
							1	2	3	1	2	3	スナッチ	ジャーク	
1	村上 和彦	岩手	盛岡工業高校	1979	2	74.46	100	105	107.5×	125	130	130	105	130	235
2	鳴川 武志	熊本	鎮西高校	1980	2	72.30	97.5	100	125	130	137.5	97.5	130	227.5	
3	八田 洋平	山口	豊浦高校	1979	2	72.70	100	102.5	105	120	125	125	102.5	125	227.5
4	小西 信幸	兵庫	明石南高校	1979	2	74.50	100	102.5	102.5	120	125	127.5	100	127.5	227.5
5	勝俣 晴範	山梨	谷村工業高校	1979	2	75.66	95	95	97.5	125	125	130	97.5	125	222.5
6	武政 登	岡山	水島工業高校	1979	2	73.66	100	102.5	102.5	115	120	122.5	100	120	220
7	横山 卓也	石川	珠洲実業高校	1980	2	74.10	92.5	95	97.5	117.5	120	125	97.5	120	217.5
8	清水 昌俊	宮城	柴田農林高校	1979	2	72.30	92.5	95	95	115	117.5	120	95	117.5	212.5
9	伊佐 健太	沖縄	糸満高校	1979	2	73.00	90	90	97.5	120	125	125	90	120	210
10	諸瀬 一洋	埼玉	埼玉栄高校	1980	2	74.60	90	95	100	110	115	115	95	115	210
11	藤井 優行	大阪	大阪工大高校	1979	2	74.16	90	90	90	117.5	122.5	122.5	90	117.5	207.5

83Kg級

1	原 洋一	山梨	日川高校	1979	2	80.02	107.5	112.5	140	145	150	112.5	145	257.5	
2	盛田 浩史	岩手	盛岡工業高校	1979	2	79.76	107.5	112.5	117.5	127.5	132.5	137.5	117.5	132.5	250
3	瀬長 啓	沖縄	南部工業高校	1979	2	81.70	105	110	110	121.5	127.5	132.5	105	132.5	237.5
4	田中 裕也	京都	加悦谷高校	1980	1	79.64	102.5	107.5	107.5	125	125	130	102.5	125	227.5
5	永松 政也	大阪	大阪産大附属高校	1979	2	81.52	95	100	105	122.5	122.5	127.5	105	122.5	227.5
6	水戸 雄二	宮城	柴田農林高校	1979	2	81.30	92.5	97.5	100	125	130	130	97.5	125	222.5
7	鈴木 駿道	福島	勿来工業高校	1979	2	77.64	95	95	100	115	120	120	95	115	210
8	花倉 崇志	大阪	大阪工大高校	1979	2	81.10	90	95	95	120	125	125	90	120	210
	菊田 光司	石川	珠洲実業高校	1979	2	76.84	100	100	105	130	130	130	105	0	—
	胡 智章	兵庫	淡路農業高校	1979	2	81.10	107.5	107.5	130	132.5	132.5	0	132.5	—	—

91Kg級

1	佐藤 彰彦	宮崎	霧翔高校	1979	2	89.98	110	115	120	135	140	145	115	140	255
2	吉田 刚	岩手	前沢高校	1979	2	87.50	105	105	105	135	140	140	107.5	135	242.5
3	渡邊 陽幸	千葉	蓮津田沼高校	1979	2	84.26	107.5	112.5	112.5	127.5	132.5	132.5	112.5	127.5	240
4	玉城 潔	沖縄	中部工業高校	1979	2	86.24	105	110	110	135	137.5	137.5	105	135	240
5	鈴木 嘉久	福島	勿来工業高校	1979	2	87.58	95	100	102.5	125	130	135	102.5	130	232.5
6	進藤 畏秋	青森	金足農業高校	1980	2	86.56	105	110	110	120	122.5	122.5	110	120	230
7	佐藤 純一	青森	八戸工大第一高	1980	2	88.92	100	105	110	115	120	125	110	120	230
8	水田 刚史	大阪	大阪工大高校	1980	1	89.70	95	100	100	125	130	130	95	125	220
9	數見 行紀	兵庫	舞子高校	1980	2	85.34	97.5	97.5	102.5	120	120	125	97.5	120	217.5
	蔽田 弘二	京都	加悦谷高校	1980	1	88.00	100	105	110	135	135	135	110	0	—
	高橋 威哉	香川	多度津工業高校	1979	2	86.60	100	100	100	132.5	137.5	137.5	0	132.5	—

99Kg級

1	金城 陽一	沖縄	沖縄工業高校	1980	1	98.72	107.5	112.5	115	130	135	135	112.5	135	247.5
2	大友 智幸	宮城	宮城県農業高校	1979	2	95.32	102.5	105	107.5	130	132.5	135	107.5	132.5	240
3	小林 大樹	山形	山添高校	1979	2	96.74	100	100	105	127.5	132.5	135	105	132.5	237.5
4	野沢 和宏	福井	木小山北校	1980	2	98.56	95	95	100	125	127.5	135	95	127.5	222.5
5	千葉 基樹	岩手	岩谷堂農林高校	1979	2	92.82	100	105	105	120	120	125	100	120	220
6	二星 孝輔	兵庫	淡路農業高校	1979	2	95.44	90	95	95	110	120	125	95	125	220

108g級

1	茂野 正城	山梨	日大明誠高校	1979	2	102.64	110	115	120	135	140	145	147.5	120	147.5	267.5 CS
2	松崎 優介	熊本	鎮西高校	1979	2	101.82	110	115	115	142.5	142.5	150	115	142.5	257.5	
3	与那峰吉幸	沖縄	辺土名高校	1980	2	101.68	110	115	120	140	145	147.5	115	140	255	
4	杉本 勝	秋田	海洋技術高校	1979	2	102.98	105	110	115	135	135	140	110	135	245	
5	久野 時廉	長崎	西彼農業高校	1979	2	102.18	95	100	105	120	120	120	100	120	220	

108g級

1	鶴谷 直基	京都	鳥羽高校	1979	2	108.22	105	110	110	140	140	145	110	140	250
2	須田 慎一	島根	松江西高校	1979	2	110.68	102.5	107.5	110	132.5	137.5	137.5	102.5	137.5	240
3	宮城 盛幸	沖縄	南部工業高校	1979	2	122.90	100	107.5	107.5	132.5	132.5	132.5	100	132.5	232.5

【女子】

46Kg級

順位	氏名	都道府県名	学校名	生年	学年	体重	スナッチ			クリーン＆ジャーク			ベスト		トータル
							1	2	3	1	2	3	スナッチ	ジャーク	
1	鹿田 知里	京都	加悦谷高校	1980	2	45.86	65 ×	65 CR	70 ×	80 ×	80 CS	82.5 CR	65	82.5	147.5 CR
2	久田紗知恵	岐阜	可児高校	1979	2	45.94	55	57.5	60 ×	67.5	70	72.5 ×	57.5	70	127.5
3	伊藤 守恵	岐阜	土岐商業高校	1979	2	45.86	45 ×	45	47.5 ×	57.5	62.5 ×	62.5 ×	45	57.5	102.5

50Kg級

1	野村 依可	兵庫	須磨友が丘高校	1980	2	49.32	62.5 CS	65 ×	65 ×	80 CR	85 HR	87.5 ×	62.5	85	147.5 CR
2	大竹 櫻	埼玉	埼玉米光高校	1981	1	49.82	55 ×	55	57.5	70	75 ×	75	57.5	75	132.5
3	中島麻里子	岡山	倉敷商業高校	1980	2	49.46	50 ×	50	52.5	65	70 ×	70 ×	52.5	65	117.5
4	谷口 美子	京都	加悦谷高校	1980	1	49.82	47.5	50	52.5	57.5	60	62.5 ×	52.5	60	112.5
5	飯田小夜子	兵庫	舞子高校	1979	2	48.70	45	47.5	50	55	57.5	60 ×	50	57.5	107.5
6	上谷 智子	石川	珠洲実業高校	1979	2	49.44	45	47.5	50 ×	57.5 ×	57.5	60	47.5	60	107.5

54Kg級

1	平良 胡美	沖縄	糸満高校	1979	2	53.16	60	65 ×	65 ×	80	82.5	85 ×	60	82.5	142.5
2	針谷 望	埼玉	埼玉栄高校	1980	1	53.50	52.5 ×	52.5	55	72.5 ×	77.5 ×	55	72.5	127.5	
3	石川ゆうか	京都	加悦谷高校	1980	1	53.60	52.5	55	57.5	70 ×	70 ×	57.5	70	127.5	
4	江熊佐知子	京都	鳥羽高校	1980	1	53.40	55	57.5	60 ×	67.5 ×	67.5	70 ×	57.5	67.5	125
5	藤原 純子	大阪	大阪工大高校	1979	2	52.54	52.5 ×	52.5	55 ×	70 ×	70	75 ×	52.5	70	122.5
6	池山 美香	埼玉	埼玉栄高校	1979	2	53.84	47.5 ×	47.5	50	70	72.5	75 ×	50	72.5	122.5

59Kg級

1	大竹 茜	埼玉	埼玉栄高校	1979	2	58.20	60	65 CS	68 HR	80	85 ×	85	67.5	85	152.5
2	富田麻梨子	茨城	石岡第一高校	1979	2	56.58	60	65 ×	65 ×	72.5	77.5 ×	77.5 ×	60	72.5	132.5
3	晃昇 留美	徳島	板野高校	1980	2	58.86	55	57.5	60 ×	65	70 ×	70	57.5	70	127.5
4	岸本 恵美	兵庫	須磨友が丘高校	1981	1	56.74	50	52.5	55	65 ×	65	70	55	70	125
5	真利ちあき	兵庫	三木東高校	1980	1	56.40	50	52.5	55	65 ×	65	67.5	55	67.5	122.5
6	水谷 宏恵	兵庫	舞子高校	1979	2	56.74	52.5	55	57.5 ×	62.5	65 ×	65	55	65	120

64Kg級

1	山崎 蘭	埼玉	埼玉栄高校	1979	2	60.70	60	65 ×	65	72.5	75	77.5	65	77.5	142.5
2	大倉 妙子	埼玉	埼玉栄高校	1980	1	61.62	57.5	60	62.5 ×	77.5	80	85 ×	60	80	140
3	西田 美幸	北海道	士別東高校	1979	2	61.10	60 ×	60 ×	60	70	72.5 ×	72.5 ×	60	70	130
4	仁見 郁代	栃木	小山高校	1980	1	62.52	57.5	60 ×	60 ×	70 ×	70	75 ×	57.5	70	127.5

70Kg級

1	有吉 光代	京都	加悦谷高校	1979	2	64.42	57.5	62.5 ×	62.5 ×	77.5	80 CS	82.5 CR	57.5	82.5	140
---	-------	----	-------	------	---	-------	------	--------	--------	------	-------	---------	------	------	-----

76Kg級

1	岡部 直美	栃木	小山北桜高校	1980	2	70.22	50	60 ×	60	65 ×	65	70 ×	60	65	125
---	-------	----	--------	------	---	-------	----	------	----	------	----	------	----	----	-----

83Kg級

1	中島 雪	石川	珠洲実業高校	1979	2	81.02	57.5	60	62.5 ×	72.5	77.5	80 ×	60	77.5	137.5
---	------	----	--------	------	---	-------	------	----	--------	------	------	------	----	------	-------

優秀選手発掘について

(1996年現在)

山梨県立日川高等学校 小宮山 哲雄

私がウエイトリフティング競技の指導で心がけていることは、練習内容や私生活の指導することは当然であるが、その前にウエイトリフティング競技に必要な素質を持っている生徒（中学生）を探すことであった。

自分自身が選手をしていたころはやはり選手確保までは手が回らず四苦八苦していた。選手を終わった時にこの優秀選手の確保を積極的に行つた。それを思ったのは私の勤務している県立日川高等学校は毎年県大会で7～8のクラブが優勝あるいは準優勝するレベルであり、他県でも強いクラブはどの種目でも選手勧誘をしているのは判っていることである。また平成元年から三校の総合選抜になったため日川高校の入試点数が低くなり入学の基準が楽になった。

私も“待っているだけでは良い選手は来ない”を信念にして各中学校を回り、また陸上競技会、各種競技会にはいつも顔をだした。今年で監督8年目になるが、中学校の先生方にも顔と名前を覚えて頂けるようになった。もっとも、中学校の先生方も日川高校のOBが多く理解もあった。一人の中学校選手を確保するのに最低4～5回足を運ぶ。中学校はもちろん、自宅までもウエイトリフティング競技の説明に行くこともある。時間帯は昼だけではなく夜にも行動し、50km以上の遠方にも足を運び、勧誘は早ければ5月、遅くとも6月から来年入学する生徒を探しまじめ、11月には7～9人の選手が決まっている。従って勧誘に行く回数は30回以上行くことになる。勧誘の際に持っていくものは、フォームの分割写真・活躍した選手の新聞・ビデオ・携帯テレビ・携帯ジャンプメーター・10kgシャフトである。

全国で今まで個人的に活躍するものは1～2人いたが、インターハイの団体で活躍するにはある程度人数がいなければ勝負できない。私はコーチ時代に武井多加志監督のもと優勝・準優勝の経験はあるが、私が監督になってインターハイの団体成績は平成5年7位、平成6年5位、平成7年2位、そして平成8年度地元山梨インターハイでは選手が良く健闘し、出場した10名の選手が全員入賞得点し団体優勝することがで

きた。そして平成9年度も良い選手がいるので頂点を目指して頑張りたい。このような成績が残せているのも、山梨県ウエイトリフティング協会が村田一郎会長をはじめとして小さい協会ながらもまとまりのある集団であるからである。

私自身が考えた全国で入賞（8位以内）できる中学生の基準をあげよう。

100m走	(体重75kg以内) 12秒5以内 (体重75kg以上) 13秒0以内
400m走	56秒以内
砲丸投げ	(体重65kg以内) 12m以上 (体重65kg以上) 13m以上
走り高跳	自分の身長の9割を跳ぶ
立ち幅跳	2m30cm以上
垂直跳び	70cm以上
体操	バック転・バック宙が出来る
柔道	県大会ベスト8以内
腕相撲	校内3番以内 (男子約50人以上の規模)
柔軟性	柔軟性のあるもの

以上の項目のうち一つクリアしていればOKである。

また、以下の体形(柔軟性)にも注意していただきたい。

鎖骨が飛び出している
手首が固い
肘が伸びない(野球肘)
腰がはれない

あとは本人の性格を見て判断し、特に優れている生徒がいれば、先に述べたように家庭にも行く

まとめ
中学生から競技をしていなくても能力の高い選手であれば、充分活躍する選手が出てくる。また、入学する3月中旬からフォームを繰返し行い、やはり初心者には飛んだり、跳ねたり、走ったりすることはマイナスにはならない。

(注) 小宮山先生はH9年4月1日から山梨県立吉田高校に転勤されました。

クローズアップ「ヤングリフター」(男)



森田宗弘

1976 (昭和51年)

8月15日生

九州国際大学 (3年)

91kg級

東アジア大会出場

・320kg

(自己記録)

福岡県出身



鈴木和美

1976 (昭和51年)

10月4日生

明治大学 (3年)

83kg級

東アジア大会出場

・325kg

(自己記録)

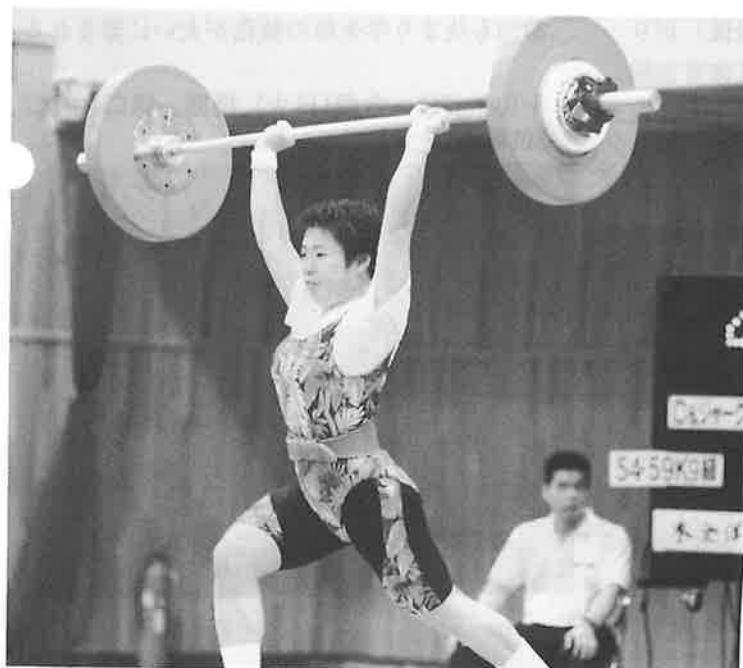
沖縄県出身

クローズアップ「ヤングリフター」(女)



シカダチサト
鹿田知里

1980 (昭和55年)
3月8日生
加悦谷高校 (京都府)
46kg級 (153cm, 47kg)
第3回女子ジュニア世界選手権大会出場
・152.5kg
(自己記録)
京都府出身



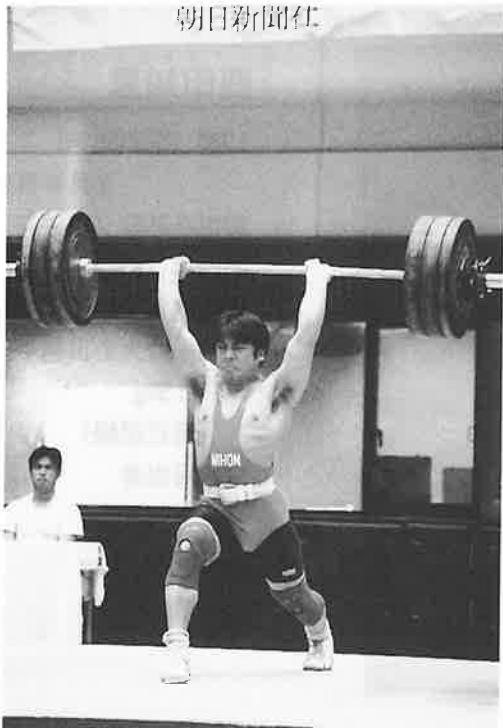
キマタヒロミ
木全洋美

1978 (昭和53年)
12月16日生
日本体育大学 (1年)
54kg級 (152cm, 55kg)
第3回女子ジュニア世界選手権大会出場
・157.5kg
(自己記録)
愛知県出身

第43回全日本学生個人選手権大会

9日～11日 大阪府立体育会館

三宅敏博（日大） ジャーク162・5kg（大会新）



全日本学生個人戦（朝日新聞社後援）が9日、10日、11日の3日間、大阪府立体育会館で開幕、9日は男子4階級に上原（法大）、宮川（明大）、安田（大商大）、羽藤（法大）がそれぞれ初優勝した。



最優秀選手賞（大阪府知事杯）、三宅敏博（日大）

男子2日目2階級では76kgに出場した三宅（敏）日大がスナッチ132.5kg、ジャーク165kgの大会新で優勝し、83kgでは金澤（九州国際大）が277.5kgで優勝した。

大会最終日11日には99kg（孫）108kg（中川）の拓大2人が優勝、91kg級は関口（日大）+108kg級では中大樋口がスナッチ150kgジャーク180kgの好記録で優勝した。

一部世界ジュニア、東アジア大会で有望選手が抜けたが各クラス好試合が続き例年以上の活気ある大会となった。

特に入学以来体調をくずしていた、三宅（日大）の大会新、+108kg級樋口の目覚ましい活躍が光った。

女子はまだまだ出場者が少なく立命館大学が2人、日体大2人の優勝が目立った。

女子もやはり東アジア大会、世界ジュニアで主力を欠くとはいえシドニーオリンピック参加も決まり学生陣の強化が大いに望まれる。

+108kg2位 今岡（日大）、優勝 樋口（中大）、3位堀内（法大）



第43回全日本学生個人選手権大会

●平成9年5月9日 [54Kg級~70Kg級]・10日 [76Kg級~83Kg級]・11日 [91Kg級~+108Kg級]

●大阪府立体育館(大阪市)

54Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト		トータル
						1	2	3	1	2	3	スナッチ	ジャーク	
1	上原不二男	法政大学	1976	3	53.25	95	100 ×	100 ×	120	125	130 ×	95	125	220
2	小野剛義	大阪商業大学	1978	2	53.70	87.5 ×	92.5	95	110	115	120	95	120	215
3	倉岡伸次	中央大学	1976	3	53.90	87.5	92.5	95 ×	120 ×	120	130 ×	92.5	120	212.5
4	山川聖	明治大学	1977	2	52.50	92.5 ×	92.5	97.5 CS	107.5	112.5	115 ×	97.5	112.5	210
5	未広雄一	日本大学	1979	1	53.20	87.5	92.5	95	107.5	112.5	115 ×	95	112.5	207.5
6	大木正宗	法政大学	1975	4	53.60	82.5	85	87.5 ×	112.5	117.5	122.5 ×	85	117.5	202.5
7	小保俊介	拓殖大学	1978	2	53.85	85	90 ×	90	105	110 ×	110 ×	90	105	195
8	鳥居克則	九州共立大学	1975	4	53.60	85	90	92.5 ×	100	105 ×	107.5 ×	90	100	190
9	古田隆規	九州共立大学	1979	1	53.65	80 ×	80	85	100	105	112.5 ×	85	105	180
10	竹下湖南	日本体育大学	1979	1	53.40	80	85 ×	85 ×	105 ×	105 ×	110 ×	80	105	185

59Kg級

1	宮川一宏	明治大学	1975	4	58.85	100	105	107.5 ×	125	130 ×	132.5	105	132.5	237.5
2	山本亮	明治大学	1976	4	57.70	102.5 ×	102.5	107.5 ×	130 ×	130	132.5	102.5	132.5	235
3	上野修	大阪商業大学	1978	2	58.70	100	105	110	120	125	127.5 ×	110	125	235
4	石井庸介	中央大学	1976	4	58.65	100 ×	100	105 ×	130 ×	130	137.5 ×	100	130	230
5	牧山和広	福岡大学	1975	4	58.60	97.5	102.5 ×	102.5	125	130 ×	130 ×	102.5	125	227.5
6	芳賀寛蔵	日本大学	1977	2	58.65	95 ×	95	100	117.5	122.5	127.5	100	127.5	227.5
7	前田和樹	大阪商業大学	1976	3	58.80	97.5	102.5	105	115	120	125 ×	105	120	225
8	伊東健	日本大学	1976	3	58.85	95 ×	95	100	115	122.5 ×	125	100	125	225
9	田中彰人	日本体育大学	1976	3	59.00	95	100	102.5 ×	120 ×	120	125 ×	100	120	220
10	尾上泉	拓殖大学	1976	3	58.80	95	100 ×	100 ×	122.5 ×	122.5	127.5 ×	95	122.5	217.5
11	富沢陽一	国士館大学	1976	3	58.40	87.5	92.5	95	115	120 ×	120	95	120	215
12	岩城豊太	中京大学	1976	3	58.20	90	95	97.5	115 ×	115	117.5 ×	97.5	115	212.5
13	吉田茂則	拓殖大学	1977	3	58.60	95 ×	95 ×	95	115	122.5 ×	122.5 ×	95	115	210
14	末吉大輔	福岡大学	1977	2	58.65	90	95	97.5 ×	115 ×	115	120 ×	95	115	210
15	辻岡英孝	近畿大学	1978	1	58.95	90	95 ×	95	105	110	115	95	115	210
16	中幡和幸	早稻田大学	1978	2	55.35	90	95 ×	95 ×	112.5 ×	115	120 ×	90	115	205
17	釜床彰	大阪商業大学	1978	1	57.80	85	90	92.5 ×	105	110	115	90	115	205
18	河辺昇	日本体育大学	1978	2	58.70	95 ×	95 ×	95	110	115 ×	110 ×	85	110	205
荒川学	明治大学	1977	2	58.80	80	85 ×	85	110 ×	110 ×	110 ×	85	0	—	—
乾和行	近畿大学	1977	2	58.85	85	90 ×	90 ×	105 ×	105 ×	105 ×	85	0	—	—

64Kg級

1	安田更	大阪商業大学	1975	4	63.75	115	120	122.5 ×	137.5	142.5	145 ×	120	142.5	262.5
2	木村一彦	法政大学	1975	4	63.85	115	120 ×	120 ×	142.5	147.5 ×	150 ×	115	142.5	257.5
3	大沼慶太	中央大学	1975	4	63.05	110	112.5	115	135	140 ×	142.5 ×	115	135	250
4	入江幸正	九州国際大学	1976	3	63.00	105	110 ×	112.5 ×	132.5	137.5	142.5 ×	105	137.5	242.5
5	石原純一	拓殖大学	1975	4	63.15	107.5	112.5 ×	115 ×	135 ×	135	140 ×	107.5	135	242.5
6	川野弘二	中央大学	1977	2	63.50	105 ×	105	110 ×	130	135 ×	135	105	135	240
7	清水泰文	九州共立大学	1976	4	62.00	100	105 ×	105	120	127.5	130 ×	105	127.5	232.5
8	飯野芳郎	大阪商業大学	1976	4	62.90	95	100	102.5	120	125	127.5	102.5	127.5	230
9	佐藤武志	日本大学	1977	2	63.05	95	100 ×	100 ×	130	135 ×	135	95	135	230
10	岩岡怜	明治大学	1978	1	63.65	100	105 ×	105 ×	125	130 ×	130	100	130	230
11	福隆彰	大阪商業大学	1977	2	63.80	100	105	107.5 ×	122.5	127.5 ×	127.5 ×	105	122.5	227.5
12	崎原栄二	大阪商業大学	1977	2	63.70	100 ×	100	105 ×	125	130 ×	130 ×	100	125	225
13	日名謙訓	明治大学	1977	1	63.95	102.5	107.5 ×	107.5 ×	122.5 ×	122.5	127.5 ×	102.5	122.5	225
14	川原修司	早稻田大学	1978	1	61.85	97.5 ×	97.5	102.5	120 ×	120	125 ×	102.5	120	222.5
15	滝豊司	日本体育大学	1975	4	63.80	100	105 ×	105 ×	120 ×	120	127.5 ×	100	120	220
16	木村大介	日本体育大学	1977	2	63.95	95	100 ×	100 ×	125 ×	125 ×	125	95	125	220
17	土橋進輔	日本体育大学	1979	1	62.70	90	95	100	110	115	120 ×	100	115	215
18	石川洋平	関西大学	1977	2	61.50	92.5 ×	92.5	100 ×	115	120	125 ×	92.5	120	212.5
19	原田武弘	明治大学	1977	2	62.65	97.5 ×	97.5	102.5 ×	115	122.5 ×	122.5 ×	97.5	115	212.5
20	小畠直之	日本体育大学	1978	1	62.80	90	95 ×	95	110	115	117.5	95	117.5	212.5
21	仲智宏	中京大学	1976	3	63.35	95 ×	95	100 ×	115	120 ×	120 ×	95	115	210
22	若林政公	中京大学	1978	1	61.85	90	92.5	95	110 ×	112.5	115 ×	95	112.5	207.5
23	野村幸夫	日本体育大学	1975	4	63.90	90 ×	90 ×	90	112.5	117.5	122.5 ×	90	117.5	207.5
24	小野寺正志	国士館大学	1978	1	62.25	85	90 ×	90 ×	105	110	112.5	85	112.5	197.5
平良和士	明治大学	1974	4	61.65	100	102.5 ×	102.5	120 ×	120 ×	120 ×	102.5	0	—	—

70Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト		トータル
						1	2	3	1	2	3	スナッチ	ジャーク	
1	羽藤辰雄	法政大学	1976	3	65.45	110	112.5	115 ×	142.5	147.5 ×	147.5 ×	112.5	142.5	255
2	川井龍	日本大学	1977	3	67.65	110	115 ×	115	140	145 ×	145 ×	115	140	255
3	斎藤隆二	日本大学	1977	3	69.30	105	110	115 ×	145	150 ×	150 ×	110	145	255
4	坂下篤史	法政大学	1977	2	68.60	105	110	112.5 ×	132.5	137.5	142.5 ×	110	137.5	247.5
5	伊阪康智	拓殖大学	1975	4	66.85	105 ×	105	112.5	132.5	137.5 ×	137.5 ×	112.5	132.5	245
6	鈴木英治	大阪商業大学	1978	1	67.60	100	105	107.5	132.5 ×	132.5 ×	132.5	107.5	132.5	245
7	八坂真太郎	明治大学	1977	2	64.20	100 ×	100	105	125	130 ×	130 ×	105	125	230
8	奥田得慶	立命館大学	1977	3	65.30	100 ×	100 ×	100	125	130	135 ×	100	130	230
9	敦賀友三	明治大学	1978	2	67.35	100	105 ×	105 ×	125	130	135 ×	100	130	230
10	沢田石紀仁	秋田経法大学	1976	4	68.50	100	105	110 ×	125 ×	125	132.5 ×	105	125	230
11	和田太郎	明治大学	1978	1	69.05	90	95	97.5	117.5	122.5 ×	125 ×	97.5	117.5	215
12	田上雄一	国士館大学	1978	1	67.15	90	95 ×	95 ×	110	115	122.5 ×	90	115	205
13	原昌伸	明治大学	1978	1	64.30	85	90 ×	90 ×	110	115 ×	115 ×	85	110	195
14	日高雄作	国士館大学	1975	4	69.25	105	110	115 ×	140 ×	140 ×	140 ×	110	0	—

76Kg級

1	三宅敏博	日本大学	1975	4	75.00	127.5	132.5	137.5 ×	157.5	162.5 CR	165 CR	132.5	165	297.5 CR
2	横本唯史	日本大学	1976	3	73.90	120	125	130 ×	150	155 ×	157.5 ×	125	150	275
3	原田栄次	中央大学	1975	4	75.70	120	125 ×	125	150	157.5 ×	162.5 ×	125	150	275
4	八木一夫	日本大学	1975	4	74.85	115	120 ×	120	145 ×	145	150 ×	120	145	265
5	橋本丈	拓殖大学	1979	1	75.90	110	115 ×	115 ×	142.5	150	155	110	155	265
6	樋口誉	法政大学	1977	2	73.10	112.5 ×	112.5	117.5 ×	140	145	150	112.5	150	262.5
7	三浦善幸	日本大学	1978	2	75.25	112.5	117.5	120	142.5	147.5 ×	147.5 ×	120	142.5	262.5
8	岡正吾	日本体育大学	1976	3	76.00	117.5	122.5 ×	122.5 ×	140	145 ×	145	117.5	145	262.5
9	伊坂倉人	日本大学	1975	4	75.75	110	112.5	115 ×	147.5	152.5 ×	152.5 ×	112.5	147.5	260
10	慶田英作	明治大学	1978	1	74.80	110	115 ×	115 ×	135	140	145	110	145	255
11	小池里司	拓殖大学	1976	3	74.80	110 ×	110	115 ×	130	140 ×	140 ×	110	140	250
12	天野成仁	日本大学	1979	1	75.25	110	115 ×	115 ×	140	145 ×	145 ×	110	140	250
13	千野正博	日本体育大学	1976	4	75.95	105	110 ×	110 ×	130	135	140	105	140	245
14	久徳哲也	近畿大学	1978	2	71.15	107.5 ×	107.5	112.5 ×	130	135	137.5 ×	107.5	135	242.5
15	熊川大	日本体育大学	1978	1	71.75	102.5	107.5	110 ×	135	140 ×	140 ×	107.5	135	242.5
16	松本淳	早稲田大学	1977	3	75.20	105	110 ×	110	125	130 ×	130 ×	110	125	235
17	金城善人	法政大学	1979	1	75.55	100	105 ×	105 ×	130	135	140	100	135	235
18	善教健	九州共立大学	1978	1	71.35	85	90	92.5 ×	120	127.5	130 ×	90	127.5	217.5
19	市田浩志	関西大学	1975	4	75.60	95	100 ×	100	115	120 ×	120 ×	100	115	215
20	堂浦雄太	中京大学	1975	4	74.00	112.5	115 ×	115	135 ×	135 ×	135 ×	115	0	—
21	野中敬介	早稲田大学	1975	4	75.40	115 ×	115	117.5 ×	140 ×	140 ×	140 ×	115	0	—

83Kg級

1	金澤智樹	九州国際大学	1975	4	82.00	120	125 ×	127.5	145	150	152.5 ×	127.5	150	277.5
2	吉岡弘幸	中京大学	1975	4	82.00	117.5	122.5	125	145	150	152.5 ×	125	150	275
3	岩井純篠	中京大学	1977	2	82.70	117.5 ×	117.5 ×	117.5	145 ×	145	150 ×	117.5	145	262.5
4	古谷竜彦	法政大学	1977	2	78.40	110	115	120 ×	145	150 ×	152.5 ×	115	145	260
5	金子伸二	法政大学	1975	4	81.15	115	120 ×	120	140	145 ×	147.5 ×	120	140	260
6	北村礼次	立命館大学	1975	4	81.40	110	115	120	140 ×	140 ×	140 ×	120	140	260
7	吉岡史正	早稲田大学	1978	1	77.85	115 ×	115	122.5	135	142.5 ×	142.5 ×	122.5	135	257.5
8	猪狩慎吾	日本体育大学	1977	2	81.80	112.5	117.5	120 ×	140	145 ×	145 ×	117.5	140	257.5
9	新原敷亮	法政大学	1978	1	80.45	115 ×	115 ×	115	140	145 ×	145 ×	115	140	255
10	成沢豊	中央大学	1976	3	80.75	115 ×	115	120 ×	140	147.5 ×	147.5 ×	115	140	255
11	岩井正純	明治大学	1975	4	81.20	102.5	107.5	110 ×	140	145	150 ×	107.5	145	252.5
12	諏訪忠	拓殖大学	1978	1	81.40	110	115 ×	115 ×	130	135 ×	135 ×	110	135	245
13	吉井武志	佛教大学	1979	1	80.55	105	110 ×	110 ×	130	135	137.5	105	137.5	242.5
14	大西憲一	京都産業大学	1975	4	82.15	105 ×	105	110	130 ×	130	135 ×	110	130	240
15	武塙裕悦	秋田経法大学	1975	4	81.65	100	110 ×	117.5 ×	130	135 ×	135 ×	100	130	230
16	比嘉盛人	早稲田大学	1974	4	82.25	100 ×	100	105 ×	130 ×	130 ×	130 ×	100	130	230
17	角倉了太	中央大学	1976	3	80.20	110 ×	110 ×	110 ×	150	155 ×	157.5 ×	0	150	—
18	木村剛	拓殖大学	1977	2	79.50	110 ×	115 ×	120 ×	(+)	—	—	0	—	—

91Kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	スナッチ			クリーン＆ジャーク			ベスト		トータル
						1	2	3	1	2	3	スナッチ	ジャーク	
1	岡口 裕志	日本大学	1975	4	88.55	120	125	130	165	170 ×	170 ×	130	165	295
2	高橋 陽正	法政大学	1976	3	85.20	125	130 ×	130 ×	155	162.5	170 ×	125	162.5	287.5
3	清水 良隆	中央大学	1977	2	86.05	115	120 ×	120 ×	150	155	160 ×	115	155	270
4	金 太塙	中央大学	1975	4	88.80	115	120 ×	120	150	155 ×	155 ×	120	150	270
5	平岡 浩二	中京大学	1977	2	88.75	105	110	112.5	140	145	150	112.5	150	262.5
6	堀内 拓哉	拓殖大学	1977	2	83.15	110	115	120 ×	140	145	155 ×	115	145	260
7	山田 真次	明治大学	1978	2	88.90	110	115	120	140	147.5 ×	152.5 ×	120	140	260
8	古屋範明	拓殖大学	1976	3	90.95	107.5	115 ×	115	140 ×	140	150 ×	115	140	255
9	三木 英俊	九州国際大学	1977	2	86.30	110 ×	110 ×	112.5	130	135 ×	135 ×	112.5	130	242.5
10	富田 久高	立命館大学	1978	1	91.00	100	105	110	130	135 ×	135 ×	110	130	240

99Kg級

1	孫 博強	拓殖大学	1974	1	98.50	147.5 CR	155 ×	157.5 ×	170	180 CR	182.5 ×	147.5	180	327.5 CR
2	岩崎 宇信	法政大学	1977	4	93.95	130	135 ×	135 ×	175	180 ×	(+)	130	175	305
3	三木 栄作	日本大学	1975	4	95.95	130	135 ×	135	160	165	170 ×	135	165	300
4	八家 信也	法政大学	1976	3	96.35	125	130 ×	130	165	170	172.5 ×	130	170	300
5	長井 彰良	日本体育大学	1976	4	94.15	120	125	130 ×	150	155	160	125	160	285
6	上間 直樹	明治大学	1976	3	94.45	115	120	122.5 ×	155	160	165	120	165	285
7	中根 隆雄	中京大学	1976	2	97.55	120	125 ×	125	150	155	157.5 ×	125	155	280
8	松尾 健史	日本大学	1976	3	93.05	125	130 ×	130 ×	150	155 ×	155 ×	125	150	275
9	中江 孝行	立命館大学	1978	1	97.25	120	125 ×	125 ×	150	157.5 ×	157.5 ×	120	150	270
10	佐藤 一史	中京大学	1977	2	93.75	115	120	125	137.5	142.5	147.5 ×	125	142.5	267.5
11	石鶴 智	大阪商業大学	1978	1	92.25	105	110	115 ×	135	140	145	110	145	255
12	園山 昇	法政大学	1978	1	91.10	105	110 ×	110 ×	130	135	140 ×	105	135	240
13	平尾 俊輔	福岡大学	1977	2	92.45	100	105 ×	105 ×	130 ×	130	135 ×	100	130	230
	狩山 恒	明治大学	1978	1	92.20	110 ×	110 ×	110 ×	130	135 ×	135 ×	0	130	—
	岩本 規生	明治大学	1979	1	93.75	105 ×	107.5 ×	107.5 ×	130	140 ×	140 ×	0	130	—
	森岡 達也	九州国際大学	1978	2	92.75	100 ×	100 ×	100 ×	(+)	—	—	0	—	—

108Kg級

1	中川 卓也	拓殖大学	1976	4	99.20	135	142.5 ×	145 ×	165	170	175 ×	135	170	305	
2	西村 博忠	明治大学	1975	4	103.55	127.5	132.5 ×	132.5 ×	170 ×	170	172.5	127.5	172.5	300	
3	上野 真祐	中央大学	1975	4	106.05	122.5	130	132.5 ×	160	170 ×	170	130	170	300	
4	加治工 宰	大阪商業大学	1975	4	106.15	120	125 ×	125 ×	155	160	165 ×	120	160	280	
5	伊藤 卓	日本体育大学	1977	3	107.55	125 ×	125	130 ×	155 ×	155 ×	155	125	155	280	
6	天野 洋平	法政大学	1977	2	99.90	120	125 ×	125 ×	150	155 ×	155 ×	120	150	270	
7	井上 大	明治大学	1978	1	106.15	110	115	120 ×	140	145	147.5	115	147.5	262.5	
8	内間健太郎	法政大学	1977	2	99.70	107.5	112.5 ×	112.5	145	152.5 ×	152.5 ×	112.5	145	257.5	
9	中森 達治	日本体育大学	1979	1	102.85	110 ×	110 ×	110	140	140 ×	140	145	110	145	255
10	平田 知大	法政大学	1978	1	99.20	110	115 ×	115 ×	140	145 ×	145 ×	110	140	250	
11	藤原 盛登	九州共立大学	1977	2	101.45	110	115 ×	117.5 ×	130	135 ×	135 ×	110	130	240	
12	渡辺 利宏	福岡大学	1976	3	101.70	100	105 ×	105 ×	135	140 ×	140 ×	100	135	235	

108Kg級

1	植口 忠之	中央大学	1977	2	133.85	140	145	150	170	175	180	150	180	330
2	今岡 和則	日本大学	1976	3	120.30	135	140	142.5 ×	180 ×	180 ×	180	140	180	320
3	堀内 邦彦	法政大学	1975	4	121.35	130	135 ×	135 ×	170 ×	170	180 ×	130	170	300
4	福田 行延	日本体育大学	1978	1	108.55	125 ×	125	130	160	165	170 ×	130	165	295
5	山田 淳	日本大学	1975	4	113.40	120	125	127.5	150	155	160 ×	127.5	155	282.5
6	原嘉 拓三	法政大学	1979	1	113.75	112.5	117.5	122.5	155	160	165 ×	122.5	160	282.5
7	尾崎 龍太	日本大学	1977	2	124.20	120	125	130 ×	150	155 ×	155	125	155	280
8	渡部 淳	日本体育大学	1977	2	115.75	115	120	125	145	152.5	157.5 ×	125	152.5	277.5
9	富山 一嶺	大阪商業大学	1976	3	121.65	115	120	125 ×	150	155	160 ×	120	155	275
10	鶴谷 隆	中央大学	1975	4	111.95	110	115	120	150 ×	150	160 ×	120	150	270
11	寺川 正紀	九州共立大学	1976	4	117.95	110	120	(+)	130	140	150	120	150	270
12	伊集 元	明治大学	1976	3	111.00	115	117.5	120 ×	150	157.5 ×	157.5 ×	117.5	150	267.5
13	城間 篤史	明治大学	1977	2	119.30	115	120 ×	120 ×	142.5 ×	142.5	147.5 ×	115	142.5	257.5

第9回全日本女子学生選手権大会

●平成9年5月10日 ●大阪府立体育館（大阪市）

59kg級

順位	氏名	大学名	生年	学年	体重	スナッヂ			クリーン＆ジャーク			ベスト		トータル
						1	2	3	1	2	3	スナッヂ	ジャーク	
1	植田裕美子	日本体育大学	1978	1	59.00	57.5	60	62.5	75 ×	75	77.5	62.5	77.5	140
2	杉本泰美	立命館大学	1975	4	55.00	45	50	50	65	67.5 ×	67.5	50	67.5	117.5
3	河合咲子	立命館大学	1976	3	56.45	50	55	55 ×	50	57.5	65	50	65	115

64kg級

1 川那辺麻美	立命館大学	1977	2	61.80	65	67.5	70 ×	85	90 ×	90 ×	67.5	85	152.5
---------	-------	------	---	-------	----	------	------	----	------	------	------	----	-------

70kg級

1 棚本宏美	神戸文化短大	1978	1	67.50	60 ×	60	62.5	70	75	77.5	62.5	77.5	140
坂東さやか	日本体育大学	1977	2	64.05	70 ×	70 ×	70 ×	85	90 ×	90	0	90	—

76kg級

1 辻美帆	立命館大学	1979	1	73.75	70 ×	70	75 CS	90	95 ×	97.5 CR	75	97.5	172.5 CR
-------	-------	------	---	-------	------	----	-------	----	------	---------	----	------	----------

83kg級

1 山下周子	日本体育大学	1977	3	82.30	70	72.5 ×	72.5	92.5	95 ×	95 CS	72.5	95	167.5
2 佐藤多紀子	日本体育大学	1977	3	82.80	67.5	70	72.5	90	92.5 ×	92.5	72.5	92.5	165



風にのむ
走の声援
走の汗

J R 京都駅より西舞鶴経由野田川駅下車、
3 kmの所に京都加悦谷高等学校がある。

学校はのどかな野田川町にあり、平成 9 年度高校総体ウエイトリフティング競技がここで行われる。

ごく普通の公立高校ではあるが、ここの学校には体育科もあるとうかがう。

平成 4 年に現ウエイトリフティング部顧問である川畠勉先生が赴任（大阪体育大卒）、平成 5 年にはウエイトリフティング部を創部している。

これまで男子高校総体 99kg で活躍した中江孝行、昨年度アジアジュニア（ソウル）に出場した藤原広美（70kg）、鹿田知里（46kg）、

また平成 9 年世界ジュニア（女子）鹿田知里、第 2 回東アジア大会に藤原広美（国際平成大）を送っている。

平成 5 年創部ではやくもこの活躍、以下主な活躍を列挙しても驚くばかりです。



アジアジュニア鹿田知里スナッチ

平成 9 年度全国高等学校総合体育大会

京都 総 体

ウエイトリフティング会場

主な成績

○平成 5 年

栃木高校総体 4 名出場。高校選抜前沢智栄（+83kg）

高校新で優勝、徳島国体に井川幸治出場

○平成 6 年

富山総体 5 名出場（男子）越江昭公（76kg 級）S 5 位入賞。

高校選抜中江孝行（男子99kg）T 5 位 阪本裕美（女子50kg級）T 5 位。山口晴美（女子64kg級）優勝

藤原広美（女子76kg級）2 位。

愛知国体 2 名出場入賞

全日本女子選手権前沢智栄（+83kg）2 位

○平成 7 年

鳥取総体 8 名出場、中江孝行（男子99kg 級）5 位。

高校選抜（群馬）男子 4 名、女子 2 名出場 藤原広美（女子76kg級）中江孝行が優勝

福島国体 2 名出場 中江孝行 3 位

全日本女子選手権 2 名出場 藤原広美（76kg 級）3 位

○平成 8 年

山梨総体、8 名出場 中江孝行（男子99kg 級）大会新優勝 高校選抜、男子 2 名出場、女子 4 名出場鹿田智里（女子46kg級）優勝 有吉光代（女子70kg級）優勝

広島国体 2 名出場中江孝行（男子99kg）優勝、全日本女子選手権 2 名出場鹿田（女子46kg級）2 位、藤原（女子70kg級）2 位

国際試合への出場（日本代表）

○平成8年

日韓ユース大会 中江孝行（男子99kg）2位

アジアジュニア大会、鹿田（女子46kg級）4位 藤原（女子70kg）2位高校新

○平成9年

高校選抜 鹿田（46kg級）優勝

有吉 光代（70kg級）優勝

石川ゆうか（54kg級）3位

第2回東アジア大会

藤原広美（70kg級）4位

第3回世界ジュニア鹿田知里出場

本年8月9日～12日には全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技がここ加悦谷高等学校で行われる。



指導する川畠先生

女子ウエイトリフティング競技が第27回シドニーオリンピックの正式種目と決まったニュースもあり、加悦谷高校は活気にあふれている。

トレーニング場は体育館の1階に2面設置され約30名の男女部員が本年高校総体「学校対抗 総合3位」を目標にバーベルと取組んでいる。

8面のプラットホーム両サイドは長方形になった、「引き」「脚」等のトレーニング場と

学校紹介

1. 府立加悦谷高等学校
校長 芦田 紀男 生徒数478名
2. 所在地 〒629-23 京都府与謝郡野田川町三河内810
電話 0772-42-2171
3. 交通手段 (京都駅からの所要時間)約2時間
○電車 JR京都駅→(福知山又は宮津経由)野田川駅
野田川駅(バス又はタクシー3km)
○自動車 中国道～舞鶴道(福知山より45分)
福知山IC R9(鳥取方面)
→R175(舞鶴方面)
R176(天橋立方面)野田川
4. 創部 平成4年同好会として発足、翌5年創部された。
5. 顧問 川畠 勉
6. 学生数 男子・女子併せ23人ほど
(男13、女10)

なっており、男・女の気合のこもったトレーニングが行われていた。ガラス張りで明るく、吹抜けの屋外トレーニング場でも30人は可能。勿論、男女シャワー、更衣室も備わっている。川畠先生の目がここにもそそがれていた。高校生らしい基本に忠実なトレーニングが元気いっぱいに行われていた。全国WL関係者の期待も大きい加悦谷高校WL部に栄光あれ！

編集委員



「第2回東アジア大会」

平成9年(1997.5/10~5/19)

第2回東アジア競技大会は、前回の上海大会に続き韓国釜山市において開催された。

ウエイトリフティング競技は釜山教育大学キャンパス内にある体育館で、11日~16日の5日間(中休)、毎日16:00時から女子2クラス、18:00時から男子2クラス、最終日のみ12:00時から地元韓国、中国、日本、台北、カザフスタン、モンゴルの6ヶ国103名の男女選手が参加し、激しいメダル争いが展開された。

〈国別メダル数〉

区分 国名	男			女			合計		
	金	銀	銅	金	銀	銅	金	銀	銅
日本			2		1	4	0	1	6
中国	7	3		5	1		12	4	0
韓国	2	3	5		2	5	2	5	10
チャイニーズ台北		3		4	5		4	8	
カザフスタン	1	1	3				1	1	3

日本代表(男子)チームはシドニーオリンピックを控え、20歳~24歳が10人中7人で、アトランタオリンピック出場者は納富選手だけとなった。

三木監督、細谷、我孫子、継岡コーチは約2週間の浦和合宿のち現地釜山入りをしたもので、全員元気一杯、今大会に臨んだ。

加藤仁監督率いる女子チームは現在日本チーム最高メンバーに近い編成で、コーチ陣も関口、岩崎両先生があたり、やはり大宮市にある三京釜風呂トレーニングセンターでの合宿に引き続いての大会入りとなった。

大会初日(11日)は前日までの激しい風雨

の中、必死に会場作りにあたった関係者の大変な努力のおかげで、予定通り14:00時から女子46kg級、50kg級が開始され、早々と50kg級で二柳・長谷川両選手が銀銅を獲得する見事な展開となった。18:00時から始まった男子54kg級・納富選手はアトランタオリンピックよりトータルで2.5kg下の247.5kgで惜しくも3位(銅)に終り、59kg級の富永選手に期待がかけられたが、スナッチ110kgでスタートに失敗、115kgも失敗、クリーン・アンド・ジャークでも1回目140kgに失敗、3回目勝負の145kgを挙げたものの4人がトータルで255kgの同記録で並ぶ銀銅メダル争いとなり、富永は4位に甘んじた。

2日目、女子54kg級では仲嘉選手がスナッチ80kg、クリーン・アンド・ジャーク97.5kg、トータル177.5kg、3種目に日本新記録を達成し3位に入賞した。59kg級に出場した大竹選手はスナッチ、ジャーク各1回の成功に終り4位となった。男子70kg級に出場した村田選手も、ジャーク160kgを差し挙げながら後方に落下させて失敗となり、トータル275kgで4位に終わった。



自己最高記録ジャーク200kgに成功 比嘉選手



女子 76kg級 3位銅メダルの長谷場久美選手
ジャーク

第3日目は女子59kg級の高橋選手が4位。男子83kg級に出場した鈴木選手は、スナッチで147.5kg成功の韓国選手に7.5kgのハンディをつけられ、ジャークも共に185kgに成功、最後192.5kgの鈴木選手の試技に勝負はゆだねられる結果となり、鈴木はクリーンはしたものの「たち」が重く挙上姿勢をしたが止まらなかった。

14日は大会中日となり、4日目の15日、日本女子は期待の長谷場選手が銅メダル、ホープの藤原広美選手はスナッチ85kg、ジャーク105kgに成功したが共に2試技目に失敗した。

2度目の国際試合、減量等若い藤原（ジュニア唯一人）には大変良い勉強になった。

男子91kg級に出場した森田、糸井両選手も、スナッチに森田が145kg、糸井が142.5kgと自己タイを出したが、優勝した泰広（中国）はスナッチ160kgに成功した。ジャークも森田175kg、糸井180kgを挙げたが、泰広は200kgを軽々と成功させた。中国泰広選手のトータル

〈女 子〉									
階級 国名	46 kg	50 kg	54 kg	59 kg	64 kg	70 kg	76 kg	83 kg	+83 kg
中 国	金			金	銀	金		金	金
韓 国	銅		銀	銅	銅	銅	銀	銅	
日 本	4位	銀 銅	銅	4位	出場 なし	4位	銅	4位	銅
台 北	銀	金	金		金	銀	金	銀	銀

365kgがアトランタオリンピック大会の15位（優勝402.5kg）を考えると、このクラスの道は険しい。99kg級に出場した比嘉選手は、5回成功の355kg（アトランタ西本選手と同記録）で、ジャーク200kgは自己最高記録と頑張った。

大会最終日は男子108kg級に浅田選手、+108kg級に青木、小松（共に日大O B）両選手と日本チームには珍しく3人が出場。特に青木選手は体調を崩しながらも6回の試技に成功、トータル352.5で銅メダルを獲得したのは立派だった。女子83kg級の高橋も良く頑張り、トータル187.5kgで4位となった。+83kg級出場の新井選手は、ジャーク120kg（日本新）で銅メダルを獲得し最後を飾った。



男子+108kg 3位青木延明選手(右)

今大会は男子、女子共中国の強さは相変わらずだったが、特に女子でチャイニーズ台北が、4個の金メダルと5個の銀メダルを獲得したのが光った。

競技運営面では桜井勝利専務理事がチーフジュリーは勿論、大会委員長、佐野隆氏、大橋令子さんが審判委員として活躍された。競技会場となった釜山教育大学と宿泊施設となつた選手、ホテルは10km離れ毎日、トレーニング、競技会出場、応援のバスの設定が思うように行かず、問題だったが、食事、競技会参加等適切で各国選手の評判は良かった。日本チームの一人として本大会に参加し、選手強化の重要性を再認識させられた。 編集委員

第2回東アジア競技大会

●平成9年5月11日[男子54kg級～59kg級・女子48kg級]・12日[男子64kg級～70kg級・女子50kg級～54kg級]・13日[男子76kg級～83kg級・女子59kg級～64kg級]
15日[男子91kg級～99kg級・女子70kg級～76kg級]・16日[108kg級～110kg級・女子83kg級～88kg級]

●韓国 プサン

【男子】

54Kg級

順位	氏名	国名	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			ベスト			トータル
				1	2	3	1	2	3	S	C & J	1	
1	BI ZHONGXIANG	CHN	53.85	112.5	117.5 CS	120 CR	140	150 ×	(キ)	120	140	140	260
2	WANG SHIN YUAN	TPE	53.65	105	110	112.5 ×	140	145 ×	145 ×	110	140	140	250
3	納富 俊行	JPN	53.45	102.5	107.5 ×	107.5	135	140 NS	142.5 ×	107.5	140	140	247.5
4	LEE CHIA MAO	TPE	53.80	102.5	107.5 ×	107.5 ×	132.5	142.5 ×	142.5 ×	102.5	132.5	132.5	235

59Kg級

1	TANG NINGSHENG	CHN	58.80	122.5 ×	122.5	127.5	150	170.5 ×	(キ)	127.5	150	150	277.5
2	LIU TE TSUNG	TPE	58.70	112.5 ×	112.5	117.5 ×	142.5	145 ×	145	112.5	145	145	257.5
3	LEE BAE YOUNG	KOR	58.50	110	115 ×	115 ×	142.5	145	147.5 ×	110	145	145	255
4	富永 豪志	JPN	58.50	110 ×	110	115 ×	140 ×	140	145	110	145	145	255
5	CHEN HSI HSIEH	TPE	58.80	115 ×	115	117.5 ×	140 ×	140 ×	140	115	140	140	255
6	ERDENEBILEG ENKHSAIHAN	MGL	58.85	105 ×	105	110 ×	130	135 ×	135 ×	105	130	130	235

64Kg級

1	WANG GUOHUA	CHN	63.70	135	150 WR	(キ)	150	175 ×	175 ×	150	150	150	300
2	LIAO HSING CHOU	TPE	63.70	125	130 ×	130 ×	157.5	162.5	165 ×	125	162.5	162.5	287.5
3	HWANG EUI YOUL	KOR	63.85	125	130 ×	130 ×	152.5	160	165 ×	125	160	160	285

70Kg級

1	ZHAN XUGANG	CHN	69.80	140 CS	150 CR	155 ×	170	175	180	150	180	180	330 CR
2	KIM HAK BONG	KOR	69.70	130	135	140 CS	172.5	177.5	190 ×	140	177.5	177.5	317.5
3	POTOYOMIN VASSILY	KAZ	69.60	140 CS	145 ×	145 CR	165 ×	165	172.5 ×	145	165	165	310
4	村田 豊高	JPN	69.25	125 ×	125 ×	125	150	157.5 ×	160 ×	125	150	150	275
	HSU YING HSU	TPE	69.85	115	120	125 ×	150 ×	150 ×	150 ×	120	0	0	—

76Kg級

1	LEE KANG SEOK	KOR	75.30	140	145	147.5 ×	175	180	185 ×	145	180	180	325
2	LU GANG	CHN	75.70	150	155	160 ×	170	(キ)	—	155	170	170	325
3	CHOI BYUNG CHAN	KOR	75.40	140	145	147.5 ×	170	177.5	182.5 ×	145	177.5	177.5	322.5
4	BOURYKIN ANDREI	KAZ	75.00	135 ×	135 ×	135	160	175 ×	175 ×	135	160	160	295
5	TSAI HUNG CHANG	TPE	75.35	130	135 ×	135 ×	160	167.5 ×	167.5 ×	130	160	160	290
6	BATMUNKH TSEVEENSUREN	MGL	74.45	127.5	132.5	135 ×	152.5	160 ×	160 ×	132.5	152.5	152.5	285

83Kg級

1	ZHANG YONG	CHN	81.70	150	160 CS	165 ×	190	200 CS	205 AR	160	205	205	365 CR
2	SAMADOV LBRAGIM	KAZ	82.50	160 CS	165 ×	165 ×	195 ×	195	202.5 ×	160	195	195	355
3	YEOM DONG CHUL	KOR	82.75	140	145	147.5	180	185 ×	185	147.5	185	185	332.5
4	鈴木 和美	JPN	82.30	130	135	140 UR	180 US	185 UR	192.5 ×	140	185	185	325 UR

91Kg級

1	QIN GUANG	CHN	88.20	150	160	165 CS	190	195	200 CR	165	200	200	365 CR
2	CHUN YONG SUNG	KOR	90.90	155 ×	155	160 ×	192.5	207.5 ×	207.5 ×	155	192.5	192.5	347.5
3	ALIEV RAFIG	KAZ	90.10	150	155 ×	155 ×	180	185	190 ×	150	185	185	335
4	糸井 孝人	JPN	87.40	137.5	142.5	145 ×	175	180	187.5 ×	142.5	180	180	322.5
5	森田 宗弘	JPN	90.50	135	140	145	170	175 ×	175 ×	145	170	170	315

99Kg級

1	KHRAPATYY ANATOLIY	KAZ	98.60	175 CR	182.5 ×	185 CR	210 CR	230 ×	(キ)	185	210	210	395 CR
2	TAO YUEJIANG	CHN	98.40	150	170 CR	175 ×	190	202.5 CS	205 CR	170	205	205	375 CR
3	CHOI JONG KEUN	KOR	97.20	165 CR	170 CS	172.5 ×	195	202.5 CS	205 ×	170	202.5	202.5	372.5 CS
4	比嘉 敏彦	JPN	98.95	145	150	155 ×	190	195	200	150	200	200	350

108Kg級

順位	氏名	国名	体重	ス ナ ッ チ			クリーン&ジャーク			ペ ス ト			トータル
				1	2	3	1	2	3	S	C & J	WR	
1	CUI WENHUA	CHN	103.05	170	185 CR	193.5 AR	200	210 CS	215 CR	192.5	1 215	2 407.5 CR	
2	CHUNG DAE JIN	KOR	107.50	160	165	170	210 CS	225 AR	(+)	170	3 225	1 395 CR	
3	KOPYTOV SERGUEI	KAZ	102.15	175 CR	180 CR	185 X	212.5 CR	222.5 X	222.5 X	180	2 212.5	3 392.5 CR	
4	浅田 浩伸	JPN	107.45	155 X	155	160 X	190	195	200 X	155	4 195	4 350	

+108Kg級

1 KIM TAE HYUN	KOR	136.20	182.5 CR	190 CR	195 CR	235	248 AR	250 AR	195	1 250	1 445 AR	
2 WEI TIEHAN	CHN	149.80	170 CR	180 CR	185 X	200	248 X	248.5 X	180	2 200	2 380	
3 青木 伸明	JPN	124.20	145	150	155	180	192.5	197.5	155	3 197.5	3 352.5	
4 小松 政志	JPN	124.80	152.5	157.5 X	157.5 X	180	195	202.5 X	152.5	4 195	4 347.5	
MA CHAN HUNG	TPE	124.15	140 X	140 X	140 X	(+)	—	—	0	—	—	

【女子】

46Kg級

順位	氏名	国名	体重	ス ナ ッ チ			クリーン&ジャーク			ペ ス ト			トータル
				1	2	3	1	2	3	S	C & J	WR	
1	JIANG YINSU	CHN	45.65	72.5	81.5 X	81.5 WR	87.5	90	92.5	80	1 92.5	1 172.5	
2	TSAI HUEY NOAN	TPE	45.75	70 X	70	72.5	87.5	90 X	90	72.5	2 90	3 162.5	
3	SHIN YOUNG JOO	KOR	45.80	62.5	67.5	70	87.5 X	87.5	92.5	70	3 92.5	2 162.5	
4	今岡 益美	JPN	45.85	67.5	70 X	70	85	90 X	90 X	70	4 85	4 155	

50Kg級

1 CHU NAN MEI	TPE	49.20	75	80	82.5 X	95	100	102.5 X	90	1 100	1 180	
2 二柳 かおり	JPN	48.30	72.5 X	72.5	75 X	92.5	95 X	95 NS	72.5	2 95	2 167.5 NS	
3 長谷川 優子	JPN	49.70	67.5	70	72.5	90	92.5	95 X	72.5	3 92.5	3 165	
4 CHOI YOUNG SOON	KOR	49.30	62.5	67.5 X	67.5 X	80	87.5	90 X	62.5	4 87.5	4 150	

54Kg級

1 KUO PING CHUN	TPE	53.65	82.5	85 X	85	100	102.5	105 X	85	1 102.5	1 187.5	
2 CHOI MYUNG SHIK	KOR	52.35	75	80	82.5	95	102.5 X	105 X	82.5	2 95	3 177.5	
3 仲嘉 真理	JPN	53.55	75	80 NR	82.5 X	90	97.5 X	97.5 NR	80	3 97.5	2 177.5 NR	

59Kg級

1 ZOU FEITE	CHN	58.35	92.5	100 WR	(+)	115	120	(+)	100	1 120	1 220	WS
2 WU MEI YI	TPE	58.50	90	95	100.5 X	105	124.5 X	124.5 X	95	2 105	3 200	
3 CHUNG MYUNG SOOK	KOR	58.80	75	80	82.5 X	97.5	107.5	110 X	80	3 107.5	2 187.5	
4 大竹 実穂	JPN	58.10	70	75 X	75 X	95	100 X	100 X	70	4 95	4 165	

64Kg級

1 CHEN JUI LIEN	TPE	62.95	100	106.5 X	106.5 X	117.5	122.5 X	122.5 X	100	1 117.5	1 217.5	
2 DU YUXIN	CHN	63.20	90	95 X	95 X	115	130.5 X	130.5 X	90	2 115	2 205	
3 CHOI EUN JA	KOR	62.80	85	90 X	90 X	105	115 X	115 X	85	3 105	3 190	

70Kg級

1 YU WENYU	CHN	68.55	95	103 WR	(+)	120	122.5 X	122.5	102.5	1 122.5	1 225	
2 KUO SU FEN	TPE	68.90	90 X	90	(+)	117.5	120	(+)	90	3 120	2 210	
3 KANG MI SOOK	KOR	69.45	85	90	92.5	115 X	115	120 X	92.5	2 115	3 207.5	
4 藤原 広実	JPN	69.45	85	90 X	90 X	105	110 X	110 X	85	4 105	4 190	

76Kg級

1 HUANG HSI LI	TPE	70.60	92.5	97.5	100 X	120	125	127.5 X	97.5	1 125	1 222.5	
2 KIM DONG HEE	KOR	73.10	90	95	97.5 X	112.5	125	130 X	95	2 125	2 220	
3 長谷場 久美	JPN	71.80	85 X	85	92.5 X	112.5	117.5	120 X	85	3 117.5	3 202.5	

83Kg級

順位 氏名	国名	体重	ス ナ ッ チ			クリーン&ジャーク			ペ ス ト			トータル
			1	2	3	1	2	3	S	C & J		
1 SONG ZHAMEI	CHN	76.05	100	105	107.5	130 ×	130	135.5 WR	107.5	135	1	242.5 CR
2 CHEN SHU CHIH	TPE	82.90	100 ×	100	105 ×	122.5	(丰)	—	100	122.5	2	222.5
3 KIM SOON HEE	KOR	76.45	85	90 ×	92.5	105	115	120 ×	92.5	115	3	207.5
4 高橋 沙弥香	JPN	77.25	82.5 ×	82.5	90 ×	100	105	107.5 ×	82.5	105	4	187.5

+83Kg級

1 SHAN YULONG	CHN	107.00	97.5	102.5	105	135	104	142.5	105	2 142.5	1	247.5
2 CHEN HSIAO LIEN	TPE	98.60	95	105 ×	105	130	137.5	140 ×	105	1 137.5	2	242.5
3 新井 深雪	JPN	83.55	82.5	87.5 ×	90 ×	112.5	117.5 NR	120 NR	82.5	4 120	3	202.5
4 KIM DO HEE	KOR	114.90	85	92.5	97.5 ×	107.5 ×	107.5 ×	107.5	92.5	3 107.5	4	200



女子チーム（桜井専務理事——背広）



女子50kg 2位二柳選手（左） 3位長谷川選手（右）



EAST ASIAN GAMES '97 PUSAN



WEIGHTLIFTING/역도

WORLD RECORD / 세계기록

CATEGORY 경기체급	RECORD 기록	NAME 성명	CTRY. 국가	YEAR 년도	PLACE 장소
WOMEN 46KG	Snatch	81.0	GUAN HONG	CHN	1995 GUANGZHOU
WOMEN 46KG	C & J	105.0	GUAN HONG	CHN	1996 YACHIYO
WOMEN 46KG	Total	185.0	GUAN HONG	CHN	1996 YACHIYO
WOMEN 50KG	Snatch	88.0	JIANG BAOYU	CHN	1995 PUSAN
WOMEN 50KG	C & J	110.5	LIU XIUHUA	CHN	1994 HIROSHIMA
WOMEN 50KG	Total	197.5	LIU XIUHUA	CHN	1994 HIROSHIMA
WOMEN 54KG	Snatch	92.5	ZHANG JUHUA	CHN	1994 HIROSHIMA
WOMEN 54KG	C & J	113.5	ZHANG XIXIANG	CHN	1996 YACHIYO
WOMEN 54KG	Total	202.5	ZHANG JUHUA	CHN	1994 HIROSHIMA
WOMEN 59KG	Snatch	99.0	CHEN Xiaomin	CHN	1996 WARSAW
WOMEN 59KG	C & J	124.0	XIU Xiongying	CHN	1996 WARSAW
WOMEN 59KG	Total	220.0	CHEN Xiaomin	CHN	1994 HIROSHIMA
WOMEN 64KG	Snatch	106.0	LI Hongyun	CHN	1996 WARSAW
WOMEN 64KG	C & J	130.0	LI Hongyun	CHN	1994 ISTANBUL
WOMEN 64KG	Total	235.0	LI Hongyun	CHN	1994 ISTANBUL
WOMEN 70KG	Snatch	102.5	TANG WEIFANG	CHN	1994 HIROSHIMA
WOMEN 70KG	C & J	129.0	TANG WEIFANG	CHN	1995 GUANGZHOU
WOMEN 70KG	Total	230.0	TANG WEIFANG	CHN	1994 HIROSHIMA
WOMEN 76KG	Snatch	106.0	DAI YANAN	CHN	1996 WARSAW
WOMEN 76KG	C & J	140.0	ZHANG GUIMEI	CHN	1993 SHILONG
WOMEN 76KG	Total	235.0	ZHANG GUIMEI	CHN	1993 SHILONG
WOMEN 83KG	Snatch	110.0	WEI XIANGYING	CHN	1996 WARSAW
WOMEN 83KG	C & J	135.0	CHEN SHU CHIH	TPE	1995 GUANGZHOU
WOMEN 83KG	Total	242.5	WEI XIANGYING	CHN	1996 WARSAW
WOMEN +83KG	Snatch	108.5	WANG YANMEI	CHN	1996 WARSAW
WOMEN +83KG	C & J	155.0	LI YAJUAN	CHN	1993 MELBOURNE
WOMEN +83KG	Total	260.0	LI YAJUAN	CHN	1993 MELBOURNE



EAST ASIAN GAMES '97 PUSAN



WEIGHTLIFTING/역도

WORLD RECORD / 세계기록

CATEGORY 경기체급	RECORD 기록	NAME 성명	CTRY. 국가	YEAR 년도	PLACE 장소
MEN 54KG	Snatch	132.5	MUTLU HALIL	TUR	1996 ATLANTA
MEN 54KG	C & J	160.0	MUTLU HALIL	TUR	1994 ISTANBUL
MEN 54KG	Total	290.0	MUTLU HALIL	TUR	1994 ISTANBUL
MEN 59KG	Snatch	140.0	SULEYMANOGLU HAFIZ	TUR	1995 WARSAW
MEN 59KG	C & J	170.0	PESHALOV NIKOLAI	BUL	1994 WARSAW
MEN 59KG	Total	307.5	TANG NINGSHENG	CHN	1996 ATLANTA
MEN 64KG	Snatch	148.5	WANG GUOHUA	CHN	1996 YACHIYO
MEN 64KG	C & J	187.5	SULEYMANOGLU NAIM	TUR	1996 ATLANTA
MEN 64KG	Total	335.0	SULEYMANOGLU NAIM	TUR	1996 ATLANTA
MEN 70KG	Snatch	162.5	ZHAN XUGANG	CHN	1996 ATLANTA
MEN 70KG	C & J	195.0	ZHAN XUGANG	CHN	1996 ATLANTA
MEN 70KG	Total	357.5	ZHAN XUGANG	CHN	1996 ATLANTA
MEN 76KG	Snatch	170.0	SAVCHENKO Rusian	UKR	1993 MELBOURNE
MEN 76KG	C & J	208.0	LARA Pablo	CUB	1996 SZEKSZARD
MEN 76KG	Total	372.5	LARA Pablo	CUB	1996 SZEKSZARD
MEN 83KG	Snatch	180.0	DIMAS Pyrros	GRC	1996 ATLANTA
MEN 83KG	C & J	213.5	HUSTER MARC	GER	1996 ATLANTA
MEN 83KG	Total	392.5	DIMAS Pyrros	GRC	1996 ATLANTA
MEN 91KG	Snatch	187.5	PETROV Alexey	RUS	1996 ATLANTA
MEN 91KG	C & J	228.5	KAKHIASHVILIS Akakhi	GRC	1995 WARSAW
MEN 91KG	Total	412.5	PETROV Alexey	RUS	1994 SOKOLOV
MEN 99KG	Snatch	192.5	SYRTSOV Sergei	RUS	1994 ISTANBUL
MEN 99KG	C & J	235.0	KAKHIASHVILIS Akakhi	GRC	1996 ATLANTA
MEN 99KG	Total	420.0	KAKHIASHVILIS Akakhi	GRC	1996 ATLANTA
MEN 108KG	Snatch	200.0	TAIMAZOV Timur	UKR	1994 ISTANBUL
MEN 108KG	C & J	236.0	TAIMAZOV Timur	UKR	1996 ATLANTA
MEN 108KG	Total	435.0	TAIMAZOV Timur	UKR	1994 ISTANBUL
MEN +108KG	Snatch	205.0	KURLOVICH Alexander	BLR	1994 ISTANBUL
MEN +108KG	C & J	260.0	CHEMERKIN Andrey	RUS	1996 ATLANTA
MEN +108KG	Total	457.5	KURLOVICH Alexander	BLR	1994 ISTANBUL



EAST ASIAN GAMES '97 PUSAN



WEIGHTLIFTING/역도

ASIAN RECORD / 아시아기록

CATEGORY 경기체급	RECORD 기록	NAME 성명	CTRY. 국가	YEAR 년도	PLACE 장소
MEN 54KG	Snatch	130.0	ZHANG XIANGSEN	CHN	1996 ATLANTA
MEN 54KG	C & J	157.5	ZHANG XIANGSEN	CHN	1995 GUANGZHOU
MEN 54KG	Total	285.0	ZHANG XIANGSEN	CHN	1995 GUANGZHOU
MEN 59KG	Snatch	137.5	TANG NINGSHENG	CHN	1996 ATLANTA
MEN 59KG	C & J	170.0	TANG NINGSHENG	CHN	1996 ATLANTA
MEN 59KG	Total	307.5	TANG NINGSHENG	CHN	1996 ATLANTA
MEN 64KG	Snatch	148.5	WANG GUO HUA	CHN	1996 YACHIYO
MEN 64KG	C & J	177.5	XIAO JIANGANG	CHN	1996 ATLANTA
MEN 64KG	Total	322.5	XIAO JIANGANG	CHN	1996 ATLANTA
MEN 70KG	Snatch	162.5	ZHAN XUGANG	CHN	1996 ATLANTA
MEN 70KG	C & J	195.0	ZHAN XUGANG	CHN	1996 ATLANTA
MEN 70KG	Total	357.5	ZHAN XUGANG	CHN	1996 ATLANTA
MEN 76KG	Snatch	167.5	KIM Myong Nam	PRK	1993 MELBOURNE
MEN 76KG	C & J	195.0	KIM Myong Nam	PRK	1993 SHANGHAI
MEN 76KG	Total	362.5	KIM Myong Nam	PRK	1993 MELBOURNE
MEN 83KG	Snatch	172.5	LI Yunnam	CHN	1996 YACHIYO
MEN 83KG	C & J	202.5	YUANFENG WANG	CHN	1993 MELBOURNE
MEN 83KG	Total	365.0	NIOU Viatcheslav	KAZ	1994 HIROSHIMA
MEN 91KG	Snatch	180.0	KHRAPATYI Anatoli	KAZ	1993 MELBOURNE
MEN 91KG	C & J	215.0	KHRAPATYI Anatoli	KAZ	1993 MELBOURNE
MEN 91KG	Total	395.0	KHRAPATYI Anatoli	KAZ	1993 MELBOURNE
MEN 99KG	Snatch	187.5	KHRAPATYI Anatoli	KAZ	1996 ATLANTA
MEN 99KG	C & J	228.0	KHRAPATYI Anatoli	KAZ	1996 YACHIYO
MEN 99KG	Total	412.5	KHRAPATYI Anatoli	KAZ	1996 YACHIYO
MEN 108KG	Snatch	192.5	CUI Wenhua	CHN	1995 GUANGZHOU
MEN 108KG	C & J	221.0	CHUNG DAE JIN	KOR	1997 SEOUL
MEN 108KG	Total	407.5	CUI Wenhua	CHN	1995 GUANGZHOU
MEN +108KG	Snatch	195.0	LEIBMAN Grigor i	UZB	1996 YACHIYO
MEN +108KG	C & J	247.5	KIM Tae Hyun	KOR	1996 ATLANTA
MEN +108KG	Total	437.5	KIM Tae Hyun	KOR	1996 ATLANTA



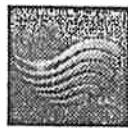
EAST ASIAN GAMES '97 PUSAN



WEIGHTLIFTING/역도

ASIAN RECORD / 아시아기록

CATEGORY 경기체급	RECORD 기록	NAME 성명	CTRY. 국가	YEAR 년도	PLACE 장소
WOMEN 46KG	Snatch	81.0	GUAN HONG	CHN	1995 GUANGZHOU
WOMEN 46KG	C & J	105.0	GUAN HONG	CHN	1996 YACHIYO
WOMEN 46KG	Total	185.0	GUAN HONG	CHN	1996 YACHIYO
WOMEN 50KG	Snatch	88.0	JIANG BAOYU	CHN	1995 PUSAN
WOMEN 50KG	C & J	110.5	LIU XIUHUA	CHN	1994 HIROSHIMA
WOMEN 50KG	Total	197.5	LIU XIUHUA	CHN	1994 HIROSHIMA
WOMEN 54KG	Snatch	92.5	ZHANG JUHUA	CHN	1994 HIROSHIMA
WOMEN 54KG	C & J	113.5	ZHANG XIXIANG	CHN	1996 YACHIYO
WOMEN 54KG	Total	202.5	ZHANG JUHUA	CHN	1994 HIROSHIMA
WOMEN 59KG	Snatch	99.0	CHEN XIAOMIN	CHN	1996 WARSAW
WOMEN 59KG	C & J	124.0	XIU XIONGYING	CHN	1996 WARSAW
WOMEN 59KG	Total	220.0	CHEN XIAOMIN	CHN	1994 HIROSHIMA
WOMEN 64KG	Snatch	106.0	LI HONGYUN	CHN	1996 WARSAW
WOMEN 64KG	C & J	130.0	LI HONGYUN	CHN	1994 ISTANBUL
WOMEN 64KG	Total	235.0	LI HONGYUN	CHN	1994 ISTANBUL
WOMEN 70KG	Snatch	103.0	WEINING LIN	CHN	1996 SEOUL
WOMEN 70KG	C & J	129.0	TANG WEIFANG	CHN	1995 GUANGZHOU
WOMEN 70KG	Total	230.0	TANG WEIFANG	CHN	1994 HIROSHIMA
WOMEN 76KG	Snatch	106.5	XIAOYAN GAO	CHN	1996 SEOUL
WOMEN 76KG	C & J	140.0	ZHANG GUIMEI	CHN	1993 SHILONG
WOMEN 76KG	Total	235.0	ZHANG GUIMEI	CHN	1993 SHILONG
WOMEN 83KG	Snatch	110.0	WEI XIANGYING	CHN	1996 WARSAW
WOMEN 83KG	C & J	135.0	CHEN SHU CHIH	TPE	1995 GUANGZHOU
WOMEN 83KG	Total	242.5	WEI XIANGYING	CHN	1996 WARSAW
WOMEN +83KG	Snatch	108.5	WANG YANMEI	CHN	1996 WARSAW
WOMEN +83KG	C & J	155.0	LI YAJUAN	CHN	1993 MELBOURNE
WOMEN +83KG	Total	260.0	LI YAJUAN	CHN	1993 MELBOURNE



EAST ASIAN GAMES '97 PUSAN



WEIGHTLIFTING/역도

EAST ASIAN GAMES RECORD / 대회기록

CATEGORY 경기체급	RECORD 기록	NAME 성명	CTRY. 국가	YEAR 년도	EVENT 대회명
MEN 54KG	Snatch	117.5	YANG BIN	CHN	1993 1st SHANG HAI
MEN 54KG	C & J	145.0	KIM MYONG SIK	PRK	1993 1st SHANG HAI
MEN 54KG	Total	262.5	YANG BIN	CHN	1993 1st SHANG HAI
MEN 59KG	Snatch	135.0	CHUN BYUNG KWAN	KOR	1993 1st SHANG HAI
MEN 59KG	C & J	160.0	CHUN BYUNG KWAN	KOR	1993 1st SHANG HAI
MEN 59KG	Total	295.0	CHUN BYUNG KWAN	KOR	1993 1st SHANG HAI
MEN 64KG	Snatch	137.5	ZHANG YOUNG YI	CHN	1993 1st SHANG HAI
MEN 64KG	C & J	170.0	LI CHANG GUN	PRK	1993 1st SHANG HAI
MEN 64KG	Total	305.0	ZHANG YOUNG YI	CHN	1993 1st SHANG HAI
MEN 70KG	Snatch	140.0	IM SANG HO	PRK	1993 1st SHANG HAI
MEN 70KG	C & J	182.5	WANG YONG	CHN	1993 1st SHANG HAI
MEN 70KG	Total	322.5	WANG YONG	CHN	1993 1st SHANG HAI
MEN 76KG	Snatch	160.0	KIM MYONG NAM	PRK	1993 1st SHANG HAI
MEN 76KG	C & J	195.0	KIM MYONG NAM	PRK	1993 1st SHANG HAI
MEN 76KG	Total	355.0	KIM MYONG NAM	PRK	1993 1st SHANG HAI
MEN 83KG	Snatch	160.0	CHON CHOL HO	PRK	1993 1st SHANG HAI
MEN 83KG	C & J	200.0	CHON CHOL HO	PRK	1993 1st SHANG HAI
MEN 83KG	Total	360.0	CHON CHOL HO	PRK	1993 1st SHANG HAI
MEN 91KG	Snatch	165.0	WANG BAO FU	CHN	1993 1st SHANG HAI
MEN 91KG	C & J	197.5	CHUN YONG SUNG	KOR	1993 1st SHANG HAI
MEN 91KG	Total	350.0	YEOM DONG CHUL	KOR	1993 1st SHANG HAI
MEN 99KG	Snatch	157.5	LIU NING	CHN	1993 1st SHANG HAI
MEN 99KG	C & J	202.5	HWANG HEE DONG	KOR	1993 1st SHANG HAI
MEN 99KG	Total	355.0	LIU NING	CHN	1993 1st SHANG HAI
MEN 108KG	Snatch	172.5	CHUN SANG SEOK	KOR	1993 1st SHANG HAI
MEN 108KG	C & J	210.0	CHUNG DAE JIN	KOR	1993 1st SHANG HAI
MEN 108KG	Total	377.5	CHUNG DAE JIN	KOR	1993 1st SHANG HAI
MEN +108KG	Snatch	160.0	WEI TIE HAN	CHN	1993 1st SHANG HAI
MEN +108KG	C & J	223.0	WEI TIE HAN	CHN	1993 1st SHANG HAI
MEN +108KG	Total	382.5	WEI TIE HAN	CHN	1993 1st SHANG HAI

1997年前期公認記録表

1997年6月1日

男子

- ☆ 日本公認最高記録表
- ☆ ジュニア日本公認最高記録表
- ☆ 大学日本公認最高記録表
- ☆ 高校日本公認最高記録表
- ☆ 中学日本公認最高記録表

女子

- ☆ 日本公認最高記録表
- ☆ 高校日本公認最高記録表

日本公認最高記録

男子

階級	種目	記録	氏名	所属	支部	年月日	大会名	開催地
54kg	スナッチ	112.5	遠辺 博	富士急行	(株)山兵庫	1993.5.10	第1回東アジア大会	1997.1.1
	C8ジャーク	140.0	納富 優行	舞子工	(株)兵	1994.6.26	第30回近畿社会人選手権大会	海上市町
	トータル	250.0	納富 優行	高崎工業	兵	1996.7.20	第26回オリンピック競技大会	アトランタ
59kg	スナッチ	132.5	池畠 大	バシフィックモータース	大阪版	1996.7.21	第26回オリンピック競技大会	アトランタ
	C8ジャーク	165.0	池畠 大	バシフィックモータース	大阪版	1996.7.21	第26回オリンピック競技大会	アトランタ
	トータル	297.5	池畠 大	バシフィックモータース	大阪版	1996.7.21	第26回オリンピック競技大会	アトランタ
64kg	スナッチ	140.0	宮路 由久	大阪商業大学	鹿児島	1994.6.22	第54回全日本選手権大会	世田谷区
	C8ジャーク	170.0	池畠 大	バシフィックモータース	大阪版	1996.5.11	第26回オリンピック競技大会	大田区
	トータル	305.0	池畠 大	バシフィックモータース	大阪版	1996.5.11	第26回オリンピック競技大会	大田区
70kg	スナッチ	142.5	宮路 由久	大阪商業大学	鹿児島	1994.10.31	第49回国民体育大会(成年男子)	湘南広州
	C8ジャーク	175.0	堀越 典昭	大自衛隊	鹿児島	1995.11.20	第67回世界選手権大会	広島市
	トータル	315.0	堀越 典昭	大自衛隊	鹿児島	1995.11.20	第67回世界選手権大会	広島市
76kg	スナッチ	147.5	水野 英郎	ユニデン	千葉	1994.10.8	第12回アジア競技大会	八ヶ岳
	C8ジャーク	190.0	水野 英郎	ユニデン	千葉	1993.11.16	第65回世界選手権大会	八ヶ岳
	トータル	330.0	水野 英郎	ユニデン	千葉	1993.10.26	第48回国民体育大会(成年男子)	八ヶ岳
83kg	スナッチ	147.5	杉山 雄美	(株)オサコ	岡山	1996.11.24	第24回全日本実業団選手権大会	羽曳野市
	C8ジャーク	182.5	西澤 雄美	オサコ	岡山	1993.11.20	第30回全日本社会人選手権大会	瀬戸市
	トータル	327.5	杉山 雄美	オサコ	岡山	1994.6.23	第54回全日本選手権大会	世田谷区
91kg	スナッチ	152.5	村田 和謙	尼崎工業高	兵庫	1995.5.29	第55回全日本選手権大会	いわき
	C8ジャーク	190.0	比嘉 敏彦	W.L.L.	沖縄	1994.6.23	第54回全日本選手権大会	世田谷区
	トータル	335.0	比嘉 敏彦	W.L.L.	沖縄	1994.6.23	第54回全日本選手権大会	世田谷区
99kg	スナッチ	167.5	西本 宣充	鳥取西工	鳥取	1996.4.8	第28回アジア選手権大会	八千代市
	C8ジャーク	210.0	西本 宣充	鳥取西工	鳥取	1996.4.8	第28回アジア選手権大会	八千代市
	トータル	377.5	西本 宣充	鳥取西工	鳥取	1996.4.8	第28回アジア選手権大会	八千代市
108kg	スナッチ	170.0	吉本 久也	法政	沖縄	1994.10.10	第12回アジア競技大会	広島市
	C8ジャーク	210.0	吉本 久也	法政	沖縄	1994.10.10	第12回アジア競技大会	島根県
	トータル	380.0	吉本 久也	法政	沖縄	1994.10.10	第12回アジア競技大会	島根県
+108kg	スナッチ	171.0	吉本 久也	法政	沖縄	1996.10.16	第51回国民体育大会(成年男子)	東広島市
	C8ジャーク	220.0	吉本 久也	法政	沖縄	1995.4.11	1995 インターショナルフレンドシップトーナメント	京都市
	トータル	395.0	吉本 久也	法政	沖縄	1995.4.11	1995 インターショナルフレンドシップトーナメント	京都市

ジュニア日本公認最高記録

男子

階級	種目	記録	氏名	所属	支部	年月日	大会名	開催地
54kg	スナッチ	102.5	山本 亮	明治	大兵庫	1996.7.27	第24回東日本大学対抗選手権大会	世田谷区
	C8ジャーク	135.0	斎藤 和巳	明治	大兵庫	1993.12.9	第39回全日本大学対抗選手権大会	尾上尾市
	トータル	232.5	斎藤 和巳	明治	大兵庫	1993.12.9	第39回全日本大学対抗選手権大会	尾上尾市
59kg	スナッチ	112.5	富永 竜志	明法	政治	1995.8.23	第9回アジアジュニア選手権大会	沙南市
	C8ジャーク	145.0	坂本 賢造	明法	政治	1993.12.9	第39回全日本大学対抗選手権大会	南尾市
	トータル	252.5	富永 竜志	明法	政治	1995.8.23	第9回アジアジュニア選手権大会	南尾市
64kg	スナッチ	132.5	宮路 由久	大阪版	学	1993.10.25	第48回国民体育大会(成年男子)	住藍住町
	C8ジャーク	150.0	宮路 由久	大阪版	学	1993.10.25	第48回国民体育大会(成年男子)	住藍住町
	トータル	282.5	宮路 由久	大阪版	学	1993.10.25	第48回国民体育大会(成年男子)	住藍住町
70kg	スナッチ	127.5	村田 豊	愛明	大阪版	1995.12.12	第43回関西学生選手権大会	大阪市
	C8ジャーク	153.0	鹿嶋 雄介	大阪版	学	1996.6.24	第36回関西学生選手権大会	大阪市
	トータル	280.0	村田 豊	愛明	大阪版	1995.12.12	第43回関西学生選手権大会	大阪市
76kg	スナッチ	132.5	上野 貴徳	九日市	立大	1995.12.7	第41回全日本大学対抗選手権大会	市上千葉市
	C8ジャーク	162.5	渡辺 直人	共立	大	1993.7.20	第53回全日本選手権大会	市上千葉市
	トータル	287.5	小林 二彦	九日市	大	1993.12.9	第39回全日本大学対抗選手権大会	市上千葉市
83kg	スナッチ	137.5	鈴木 和美	明和	大沖縄	1996.6.14	第56回全日本選手権大会	和光市
	C8ジャーク	180.0	鈴木 和美	明和	大沖縄	1996.11.16	第42回全日本大学対抗選手権大会	和光市
	トータル	315.0	鈴木 和美	明和	大沖縄	1996.6.14	第56回全日本選手権大会	和光市
91kg	スナッチ	145.0	森田 宗弘	九州	国際	1996.10.15	第51回国民体育大会(成年男子)	東広島市
	C8ジャーク	177.5	平良 一悦	九州	国際	1996.11.16	第42回全日本大学対抗選手権大会	尾上尾市
	トータル	320.0	森田 宗弘	九州	国際	1996.10.15	第51回国民体育大会(成年男子)	東広島市
99kg	スナッチ	143.0	中川 卓也	拓九	大連	1995.4.29	第16回全日本ジュニア選手権大会	和光市
	C8ジャーク	175.5	森田 宗弘	拓九	大連	1996.11.9	第42回全日本大学対抗選手権大会	和光市
	トータル	315.0	佐野 伸也	拓九	大連	1993.4.4	第14回全日本ジュニア選手権大会	和光市
108kg	スナッチ	155.0	佐野 衛	自衛	育	1993.11.20	第65回世界選手権大会	ムラカミ町
	C8ジャーク	192.5	吉本 久也	法政	育	1993.12.19	第7回アジアジュニア選手権大会	石巻町
	トータル	342.5	吉本 久也	法政	育	1993.12.19	第7回アジアジュニア選手権大会	石巻町
+108kg	スナッチ	157.5	小松 政志	日本	学	1994.5.10	1994 インターショナルフレンドシップトーナメント	ソウル
	C8ジャーク	202.5	吉本 久也	日本	学	1993.12.10	第39回全日本大学対抗選手権大会	尾上尾市
	トータル	355.0	吉本 久也	日本	学	1993.12.10	第39回全日本大学対抗選手権大会	尾上尾市

大学公認最高記録

1997 5 16

男子

階級	種目	記録	氏名	所属	年月日	大会名	開催地								
							明	治	大	学	支	部	年	月	日
54Kg	スナッチ	102.5	山本亮	兵庫	1996 7 27	第24回 東日本大学対抗選手権大会	上尾市	尾市	千葉市	学	兵	庫	1996	7	27
	C&ジャーク	135.0	斎藤和巳	大	1993 12 9	第39回 全日本大学対抗選手権大会	千葉市	尾市	千葉市	育	兵	庫	1993	7	19
	トータル	232.5	納富俊行	大	1993 7 19	第53回 全日本選手権大会	千葉市	尾市	千葉市	学	兵	庫	1993	7	19
59Kg	スナッチ	117.5	塙本誠進	法	1994 6 22	第54回 全日本選手権大会	世田谷区	尾市	千葉市	学	秋	田	1994	6	22
	C&ジャーク	150.0	斎藤和巳	明	1994 12 8	第40回 全日本大学対抗選手権大会	世田谷区	尾市	千葉市	育	秋	田	1994	6	22
	トータル	262.5	塙本誠進	法	1994 6 22	第54回 全日本選手権大会	世田谷区	尾市	千葉市	学	秋	田	1994	6	22
64Kg	スナッチ	140.0	宮路由久	阪	1994 6 22	第54回 全日本選手権大会	世田谷区	瀬戸市	イタチ	業	鹿	島	1994	6	22
	C&ジャーク	160.5	宮路由久	阪	1994 10 31	第49回 国民体育大会(成年男子)	瀬戸市	瀬戸市	イタチ	業	鹿	島	1994	11	20
	トータル	300.0	宮路由久	阪	1994 10 31	第66回 世界選手権大会	瀬戸市	瀬戸市	イタチ	業	鹿	島	1994	10	31
70Kg	スナッチ	142.5	宮路由久	阪	1994 10 31	第49回 国民体育大会(成年男子)	瀬戸市	瀬戸市	イタチ	業	鹿	島	1994	10	31
	C&ジャーク	170.0	宮路由久	阪	1993 5 11	第1回 東国民体育大会	瀬戸市	瀬戸市	イタチ	業	鹿	島	1993	5	11
	トータル	302.5	宮路由久	阪	1994 10 31	第49回 国民体育大会(成年男子)	瀬戸市	瀬戸市	イタチ	業	鹿	島	1994	10	31
76Kg	スナッチ	137.5	渡部靖	日	1993 2 18	第16回 東日本学生選手権大会	世田谷区	世田谷区	世田谷区	本	秋	田	1993	2	18
	C&ジャーク	167.5	渡部靖	日	1993 2 18	第16回 東日本学生選手権大会	世田谷区	世田谷区	世田谷区	本	秋	田	1993	2	18
	トータル	305.0	渡部靖	日	1993 2 18	第16回 東日本学生選手権大会	世田谷区	世田谷区	世田谷区	本	秋	田	1993	2	18
83Kg	スナッチ	140.0	鈴木和美	明	1997 5 13	第2回 東アジア競技大会	ブサン	ブサン	ブサン	治	沖	綱	1997	5	13
	C&ジャーク	185.0	鈴木和美	明	1997 5 13	第2回 東アジア競技大会	ブサン	ブサン	ブサン	治	沖	綱	1997	5	13
	トータル	325.0	鈴木和美	明	1997 5 13	第2回 東アジア競技大会	ブサン	ブサン	ブサン	治	沖	綱	1997	5	13
1Kg	スナッチ	150.0	村田和彌	明	1993 12 10	第39回 全日本大学対抗選手権大会	上尾市	上尾市	上尾市	法	兵	庫	1993	12	10
	C&ジャーク	185.0	比嘉敏彦	明	1993 12 10	第39回 全日本大学対抗選手権大会	上尾市	上尾市	上尾市	法	兵	庫	1993	12	10
	トータル	330.0	村田和彌	明	1993 12 10	第39回 全日本大学対抗選手権大会	上尾市	上尾市	上尾市	法	兵	庫	1993	12	10
99Kg	スナッチ	147.5	金城宇信	明	1994 11 1	第49回 国民体育大会(成年男子)	瀬戸市	瀬戸市	瀬戸市	法	沖	綱	1994	11	1
	C&ジャーク	185.0	金城宇信	明	1996 9 16	1996 インターナショナルドリーム・ポート・ナイト	千葉市	千葉市	千葉市	法	沖	綱	1996	9	16
	トータル	330.0	金城宇信	明	1994 11 1	第49回 国民体育大会(成年男子)	瀬戸市	瀬戸市	瀬戸市	法	沖	綱	1994	11	1
108Kg	スナッチ	170.0	吉本久也	法	1994 10 10	第12回 アジア競技大会	島根県	島根県	島根県	政	沖	綱	1994	10	10
	C&ジャーク	210.0	吉本久也	法	1994 10 10	第12回 アジア競技大会	島根県	島根県	島根県	政	沖	綱	1994	10	10
	トータル	380.0	吉本久也	法	1994 10 10	第12回 アジア競技大会	島根県	島根県	島根県	政	沖	綱	1994	10	10
+108Kg	スナッチ	170.5	吉本久也	法	1995 10 18	第50回 国民体育大会(成年男子)	いわき市	いわき市	いわき市	政	沖	綱	1995	10	18
	C&ジャーク	220.0	吉本久也	法	1995 4 11	1995 インターナショナルドリーム・ポート・ナイト	京都市	京都市	京都市	政	沖	綱	1995	4	11
	トータル	385.0	吉本久也	法	1995 4 11	1995 インターナショナルドリーム・ポート・ナイト	京都市	京都市	京都市	政	沖	綱	1995	4	11

高校公認最高記録

1997 3 29

階級	種目	記録	氏名	所属	年月日	大会名	開催地								
							日	相	生	産	業	校	年	月	日
54Kg	スナッチ	97.5	霜村友也	日	1994 8 9	第41回 全国高等学校選手権大会	川崎市	川崎市	川崎市	高	校	山梨	1994	8	9
	C&ジャーク	127.5	菊妻康司	相	1996 11 21	第10回 アジアジュニア選手権大会	ソウル	ソウル	ソウル	高	校	兵庫	1996	11	21
	トータル	225.0	菊妻康司	相	1996 11 21	第10回 アジアジュニア選手権大会	ソウル	ソウル	ソウル	高	校	兵庫	1996	11	21
59Kg	スナッチ	107.5	知花達也	浦	1994 2 12	近畿選抜大会	明石市	明石市	明石市	高	校	冲	1994	2	12
	C&ジャーク	135.0	今村俊一彦	浦	1997 3 28	第12回 全国高等学校選抜大会	明石市	明石市	明石市	高	校	製	1997	3	28
	トータル	235.0	今村俊一彦	浦	1994 2 12	近畿選抜大会	明石市	明石市	明石市	高	校	庫	1994	2	12
4Kg	スナッチ	117.5	中條桂良	前	1996 10 14	第51回 国民体育大会(少年男子)	東広島市	東広島市	東広島市	育	橋	馬	1996	10	14
	C&ジャーク	145.0	中條桂良	前	1996 10 14	第51回 国民体育大会(少年男子)	東広島市	東広島市	東広島市	育	橋	馬	1996	10	14
	トータル	262.5	中條桂良	前	1996 10 14	第51回 国民体育大会(少年男子)	東広島市	東広島市	東広島市	育	橋	馬	1996	10	14
70Kg	スナッチ	122.5	三宅敏博	埼	1993 10 26	第48回 国民体育大会(少年男子)	住町	住町	住町	高	校	玉	1993	10	26
	C&ジャーク	152.5	三宅敏博	埼	1997 3 15	第17回 全日本ジュニア選手権大会	尾市	尾市	尾市	高	校	馬	1997	3	15
	トータル	275.0	三宅敏博	埼	1997 3 15	第17回 全日本ジュニア選手権大会	尾市	尾市	尾市	高	校	馬	1997	3	15
76Kg	スナッチ	122.5	鈴木桂良	南	1994 8 24	第16回 日韓ユース大会	珠洲市	珠洲市	珠洲市	高	校	沖	1994	8	24
	C&ジャーク	157.5	鈴木桂良	南	1994 4 23	第15回 全日本ジュニア選手権大会	尾尾市	尾尾市	尾尾市	高	校	繩	1994	4	23
	トータル	277.5	鈴木桂良	南	1994 4 23	第15回 全日本ジュニア選手権大会	尾尾市	尾尾市	尾尾市	高	校	繩	1994	4	23
83Kg	スナッチ	126.0	鈴木桂良	南	1994 11 1	第49回 国民体育大会(少年男子)	瀬戸市	瀬戸市	瀬戸市	高	校	玉	1994	11	1
	C&ジャーク	165.0	鈴木桂良	南	1994 11 1	第49回 国民体育大会(少年男子)	瀬戸市	瀬戸市	瀬戸市	高	校	馬	1994	11	1
	トータル	290.0	鈴木桂良	南	1994 11 1	第49回 国民体育大会(少年男子)	瀬戸市	瀬戸市	瀬戸市	高	校	馬	1994	11	1
91Kg	スナッチ	130.0	平良一悦	糸	1994 8 12	第41回 全国高等学校選手権大会	川市	川市	川市	高	校	沖	1994	8	12
	C&ジャーク	168.0	平良一悦	糸	1995 10 18	第50回 国民体育大会(少年男子)	いわき市	いわき市	いわき市	高	校	板	1995	10	18
	トータル	292.5	平良一悦	糸	1994 11 2	第49回 国民体育大会(少年男子)	川市	川市	川市	高	校	板	1994	11	2
99Kg	スナッチ	130.0	中江孝行	加	1996 10 16	第51回 国民体育大会(少年男子)	東広島市	千葉市	千葉市	高	校	谷	1996	10	16
	C&ジャーク	163.0	中江孝行	加	1994 8 30	第38回 関東選手権大会	千葉市	千葉市	千葉市	高	校	木	1994	8	30
	トータル	290.0	中江孝行	加	1996 10 16	第51回 国民体育大会(少年男子)	千葉市	千葉市	千葉市	高	校	木	1996	10	16
108Kg	スナッチ	127.5	村山厚史	前	1997 3 16	第17回 全日本ジュニア選手権大会	市	市	市	高	校	馬	1997	3	16
	C&ジャーク	161.0	村山厚史	前	1997 3 16	第17回 全日本ジュニア選手権大会	市	市	市	高	校	馬	1997	3	16
	トータル	287.5	村山厚史	前	1997 3 16	第17回 全日本ジュニア選手権大会	市	市	市	高	校	馬	1997	3	16
+108Kg	スナッチ	140.0	福田行延	埼	1996 8 25	第40回 関東選手権大会(少年男子)	真鶴町	真鶴町	真鶴町	高	校	玉	1996	8	25
	C&ジャーク	172.5	福田行延	埼	1997 3 16	第17回 全日本ジュニア選手権大会	市	市	市	高	校	玉	1997	3	16
	トータル	307.5	福田行延	埼	1997 3 16	第17回 全日本ジュニア選手権大会	市	市	市	高	校	玉	1997	3	16

男子

中学公認最高記録

1997.1.1

階級	種目	記録	氏名	所属	支部	年月日	大会名	開催地		
46Kg	スナッチ	57.5	山田 政輔	荒 荒	群 群	馬 馬 1994.8.15	第8回 全国中学選手権大会	大阪市		
	CJジャーク	82.5	山田 政輔	荒 荒	群 群	馬 馬 1994.8.15	第8回 全国中学選手権大会	大阪市		
	トータル	140.0	山田 政輔	荒 荒	群 群	馬 馬 1994.8.15	第8回 全国中学選手権大会	大阪市		
50Kg	スナッチ	70.0	山田 政輔	荒 荒	群 群	馬 馬 1995.8.25	第9回 全国中学選手権大会	北茨城市		
	CJジャーク	90.0	山田 政輔	荒 荒	群 群	馬 馬 1995.8.25	第9回 全国中学選手権大会	北茨城市		
	トータル	160.0	山田 政輔	荒 荒	群 群	馬 馬 1995.8.25	第9回 全国中学選手権大会	北茨城市		
54Kg	スナッチ	65.0	石川 研二	桑 桑	中 中	学 学 校 校	木 木 1994.8.15	第8回 全国中学選手権大会	大阪市	
	CJジャーク	80.0	石川 研二	桑 桑	中 中	学 学 校 校	木 木 1994.8.15	第8回 全国中学選手権大会	大阪市	
	トータル	145.0	石川 研二	桑 桑	中 中	学 学 校 校	木 木 1994.8.15	第8回 全国中学選手権大会	大阪市	
59Kg	スナッチ	75.0	酒井 宗俊	小 川	中 中	学 学 校 校	本 本 1995.8.25	第9回 全国中学選手権大会	北茨城市	
	CJジャーク	110.0	岩岡 怜宗	小 海	中 中	学 学 校 校	島 島 1993.8.25	第7回 全国中学選手権大会	沼田市	
	トータル	170.0	酒井 宗俊	小 川	中 中	学 学 校 校	島 島 1995.8.25	第9回 全国中学選手権大会	北茨城市	
64Kg	スナッチ	95.0	中條 桂良	大 大	栗 栗	群 群	馬 馬 1993.8.25	第7回 全国中学選手権大会	沼田市	
	CJジャーク	115.0	中條 桂良	大 大	栗 栗	群 群	馬 馬 1993.8.25	第7回 全国中学選手権大会	沼田市	
	トータル	210.0	中條 桂良	大 大	栗 栗	群 群	馬 馬 1993.8.25	第7回 全国中学選手権大会	沼田市	
70Kg	スナッチ	80.0	柏崎 英明	桑 城	中 城	学 学 校 校	木 木 1993.8.25	第7回 全国中学選手権大会	沼田市	
	CJジャーク	105.0	柏崎 英明	桑 城	中 城	学 学 校 校	木 木 1993.8.25	第7回 全国中学選手権大会	沼田市	
	トータル	185.0	柏崎 英明	桑 城	中 城	学 学 校 校	木 木 1993.8.25	第7回 全国中学選手権大会	沼田市	
76Kg	スナッチ	80.0	小野寺 大樹	士 士	別 別	中 中	学 学 校 校	北海道 北海道 1994.8.15	第8回 全国中学選手権大会	大阪市
	CJジャーク	97.5	小野寺 大樹	士 士	別 別	中 中	学 学 校 校	北海道 北海道 1994.8.15	第8回 全国中学選手権大会	大阪市
	トータル	177.5	小野寺 大樹	士 士	別 別	中 中	学 学 校 校	北海道 北海道 1994.8.15	第8回 全国中学選手権大会	大阪市
83Kg	スナッチ	72.5	松下 正典	城 東	中 中	学 学 校 校	和歌山 和歌山 1996.8.23	第10回 全国中学選手権大会	町田市	
	CJジャーク	95.0	松下 正典	城 東	中 中	学 学 校 校	和歌山 和歌山 1996.8.23	第10回 全国中学選手権大会	町田市	
	トータル	167.5	松下 正典	城 東	中 中	学 学 校 校	和歌山 和歌山 1996.8.23	第10回 全国中学選手権大会	町田市	
+83kg	スナッチ	82.5	宮崎 広勝	深 泽	中 中	学 学 校 校	群 属 1993.8.25	第7回 全国中学選手権大会	沼田市	
	CJジャーク	100.0	宮崎 広勝	深 泽	中 中	学 学 校 校	群 属 1993.8.25	第7回 全国中学選手権大会	沼田市	
	トータル	182.5	宮崎 広勝	深 泽	中 中	学 学 校 校	群 属 1993.8.25	第7回 全国中学選手権大会	沼田市	

日本公認最高記録

1997.5.16

階級	種目	記録	氏名	所属	支部	年月日	大会名	開催地
46Kg	スナッチ	70.0	二柳 かおり	平成成成	国際国際	大學生学	第10回 全国女子選手権大会	和光市
	C&ジャーク	92.5	二柳 かおり	平成成成	国際国際	大學生学	第10回 全国女子選手権大会	和光市
	トータル	162.5	二柳 かおり	平成成成	国際国際	大學生学	第10回 全国女子選手権大会	和光市
50Kg	スナッチ	73.5	二柳 かおり	平成成成	国際国際	大學生学	なみはや国体記念杯女子大会	羽曳野市
	C&ジャーク	95.0	二柳 かおり	平成成成	国際国際	大學生学	なみはや国体記念杯女子大会	羽曳野市
	トータル	167.5	二柳 かおり	平成成成	国際国際	大學生学	なみはや国体記念杯女子大会	羽曳野市
54Kg	スナッチ	80.0	仲嘉 真理	日本本体	体育育体	大學生学	第2回 東東アジア競技大会	ブサンサン
	C&ジャーク	97.5	仲嘉 真理	日本本体	体育育体	大學生学	第2回 東東アジア競技大会	ブサンサン
	トータル	177.5	仲嘉 真理	日本本体	体育育体	大學生学	第2回 東東アジア競技大会	ブサンサン
59Kg	スナッチ	87.5	高橋 百合子	埼埼玉	短期期	大學(職)	ふくしま国体記念杯女子大会	いわき市
	C&ジャーク	112.5	高橋 百合子	埼埼玉	短期期	大學(職)	第10回 世界選手権大会	ワルシットワ
	トータル	197.5	高橋 百合子	埼埼玉	短期期	大學(職)	第10回 世界選手権大会	ワルシットワ
64Kg	スナッチ	87.5	高橋 百合子	埼埼玉	短期期	大學(職)	第12回 全アジアン選手権大会	広島市
	C&ジャーク	112.5	高橋 百合子	埼埼玉	短期期	大學(職)	第7回 国際選手権大会	倉敷市
	トータル	200.0	高橋 百合子	埼埼玉	短期期	大學(職)	第12回 全アジアン選手権大会	倉敷市
70Kg	スナッチ	93.0	長谷場 久美	埼埼玉	栄栄高	校校校(教)	ふくしま国体記念杯女子大会	いわき市
	C&ジャーク	115.5	長谷場 久美	埼埼玉	栄栄高	校校校(教)	第9回 世界選手権大会	いわき市
	トータル	207.5	長谷場 久美	埼埼玉	栄栄高	校校校(教)	第7回 世界選手権大会	いわき市
76Kg	スナッチ	90.0	長谷場 久美	埼埼玉	栄栄高	校校校(教)	第8回 全アジアン選手権大会	世田谷区
	C&ジャーク	120.0	長谷場 久美	埼埼玉	栄栄高	校校校(教)	第12回 全アジアン選手権大会	島市
	トータル	207.5	長谷場 久美	埼埼玉	栄栄高	校校校(教)	第8回 全アジアン選手権大会	世田谷区
83Kg	スナッチ	87.5	新井 深雪	埼日培	短美短	期術術	第8回 世界選手権大会	ブサン
	C&ジャーク	112.5	新井 深雪	埼日培	短美短	期術術	第10回 世界選手権大会	ワルシットワ
	トータル	200.0	新井 深雪	埼日培	短美短	期術術	第10回 世界選手権大会	ワルシットワ
+83Kg	スナッチ	90.0	新井 深雪	埼玉	短美短	期術術	第9回 世界選手権大会	広州
	C&ジャーク	120.0	新井 深雪	埼玉	短美短	期術術	第9回 世界選手権大会	ブサン
	トータル	205.0	新井 深雪	埼玉	短美短	期術術	第9回 世界選手権大会	ブサン

高校公認最高記録

1997.3.29

階級	種目	記録	氏名	所属	支部	年月日	大会名	開催地
46Kg	スナッチ	67.5	二柳 かおり	埼埼玉	栄栄高	校校校	第8回 アジア選手権大会	ブサンサン
	C&ジャーク	87.5	二柳 かおり	埼埼玉	栄栄高	校校校	第9回 アジア選手権大会	広州
	トータル	152.5	二柳 かおり	埼埼玉	栄栄高	校校校	第8回 アジア選手権大会	ブサンサン
50Kg	スナッチ	65.5	松宮 紅美恵	石須磨	柔友友	師がが	なみはや国体記念杯女子大会	羽曳野市
	C&ジャーク	85.0	松宮 紅美恵	石須磨	柔友友	師がが	第12回 全国高等学校選抜大会	尼崎市
	トータル	147.5	松宮 紅美恵	石須磨	柔友友	師がが	第2回 アジアジュニア選手権大会	ソウル
54Kg	スナッチ	70.0	木全 洋美	愛知愛	工業業	大學学名電	第2回 アジアジュニア選手権大会	ソウル
	C&ジャーク	87.5	木全 洋美	愛知愛	工業業	大學学名電	第2回 アジアジュニア選手権大会	ソウル
	トータル	157.5	木全 洋美	愛知愛	工業業	大學学名電	第2回 アジアジュニア選手権大会	ソウル
59Kg	スナッチ	68.0	大竹 実穂	埼埼鎮	玉玉西	校校校	第12回 全国高等学校選抜大会	尼崎市
	C&ジャーク	95.0	大竹 実穂	埼埼鎮	玉玉西	校校校	ふくしま国体記念杯女子大会	いわき市
	トータル	157.5	大竹 実穂	埼埼鎮	玉玉西	校校校	第12回 全国高等学校選抜大会	いわき市
64Kg	スナッチ	70.0	山口 晴美	加崎沖	悦玉尚	谷谷學	ひろしま国体記念杯女子大会	東広島市
	C&ジャーク	90.0	山口 晴美	加崎沖	悦玉尚	谷谷學	第8回 全国女子選手権大会	田代谷市
	トータル	152.5	山口 晴美	加崎沖	悦玉尚	谷谷學	わかしやま国体記念杯女子大会	瀬戸市
70Kg	スナッチ	85.0	藤原 広実	加加加	悦悦悦	谷谷谷	第2回 アジアジュニア選手権大会	ソウル
	C&ジャーク	105.0	藤原 広実	加加加	悦悦悦	谷谷谷	第2回 アジアジュニア選手権大会	ソウル
	トータル	190.0	藤原 広実	加加加	悦悦悦	谷谷谷	第2回 アジアジュニア選手権大会	ソウル
76Kg	スナッチ	80.5	辻 美帆	鳥加加	羽悦悦	谷谷谷	なみはや国体記念杯女子大会	羽曳野市
	C&ジャーク	102.5	辻 美帆	鳥加加	羽悦悦	谷谷谷	近畿競技選手権大会	尼崎市
	トータル	180.0	辻 美帆	鳥加加	羽悦悦	谷谷谷	近畿競技選手権大会	尼崎市
83Kg	スナッチ	80.0	新井 深雪	埼埼埼	玉玉玉	校校校	わかかしやま国体記念杯女子大会	瀬戸市
	C&ジャーク	105.0	新井 深雪	埼埼埼	玉玉玉	校校校	わかかしやま国体記念杯女子大会	戸戸市
	トータル	185.0	新井 深雪	埼埼埼	玉玉玉	校校校	わかかしやま国体記念杯女子大会	戸戸市
+83Kg	スナッチ	70.5	山下 周子	大坂大	工五工	菜榮大	第27回 近畿高等学校選手権大会	淀町
	C&ジャーク	93.5	山下 周子	大坂大	工五工	菜榮大	第11回 関東高等学校選手権大会	白子
	トータル	162.5	山下 周子	大坂大	工五工	菜榮大	第27回 関東高等学校選手権大会	白子

主要競技会等日程

1. 競技会（国内）

第43回全日本大学個人選手権大会	5／9～11	大阪府	大阪市
第57回全日本選手権大会	6／27～29	埼玉県	浦和市
第11回全日本女子選手権大会	6／27～29	埼玉県	浦和市
高松宮賜旗第44回全国高等学校選手権大会	8／9～12	京都府	野田川町
第11回全国中学選手権大会	8／23	兵庫県	尼崎市
第15回全日本マスターズ選手権大会	8／23～24	兵庫県	尼崎市
第42回全日本大学新人選手権大会	9／6～7	埼玉県	上尾市
第52回国民体育大会	10／26～29	大阪府羽曳野市	
第43回全日本大学対抗選手権大会(Ⅱ・Ⅲ部)	11／14～16	大阪府	大阪市
内閣総理大臣杯第34回全日本社会人・			
第25回全日本実業団選手権大会	11／22～24	神奈川	真鶴町
文部大臣杯第43回全日本大学対抗選手権大会(Ⅰ部)	11／26～27	埼玉県	上尾市
JOCオリンピックカップ			
第18回全日本ジュニア選手権大会	3／14～15	埼玉県	上尾市
第13回全国高等学校選抜大会	3／26～28	東京都	大田区

2. 競技会（海外）予定

海外における国際競技会へ代表選手・役員を派遣する。

〈シニア〉

アジア選手権大会（男女）	15名	7／8～7／14	中国・江苏省揚州市
日韓中友好大会（男女）	25名	8／28～8／29	韓国・ソウル
世界選手権大会（男女）	16名	12／5～12／15	タイ・チェンマイ

〈ジュニア〉

ジュニア世界選手権大会(男女)	18名	5／24～6／6	南アフリカ・ケープタウン
日韓ユース大会（男）	15名	8／27	韓国

五、戊午9年度 競技会開催計画 (案)

日本ウェイトリフティング協会

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1木 2木 3木 4金 5土 6木 7木 8木 9木 10木 11金 12土 13木 14木 15木 16木 17木 18木 19土 20木 21木 22木 23木 24木 25木 26木 27木 28木 29木 30木 31木	1木 2木 3木 4木 5木 6木 7木 8木 9木 10木 11木 12木 13木 14木 15木 16木 17木 18木 19木 20木 21木 22木 23木 24木 25木 26木 27木 28木 29木 30木 31木												

社団法人日本ウェイトリフティング協会

賛助会員募集趣意書

時下ますます御清栄のことと御拝察申し上げます。

この法人は、ウェイトリフティング競技の普及・振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与する目的で設立しました。

以来、本協会が掲げる目的を遂行するため、諸事業を推進しておりますが、競技力にあっては、近年世界のスポーツ競技水準は目覚しいものがあり、オリンピック大会等国際大会で優秀な成績を収めることは、極めて困難な状況にあります。

こうした中で、第26回アトランタ大会では、2階級で日本記録を更新する活躍と59Kg級池畠大選手が第4位入賞を果たしてくれました。これも一重に賛助会員並びに関係各位のご支援の賜と深く感謝申し上げる次第であります。

さて、次期シドニー大会対策として、通年強化合宿の展開とその環境整備の推進を図り、もって1999年の五輪世界予選会を勝ち抜き、シドニー大会に臨む所存でございます。

つきましては、選手強化に伴う財源基盤については、本協会定款6条に基づく賛助会員の募集、支援により、進めてまいりたいと存じますので、趣旨御賢察の上賛助会員加入方について格段の御協力を賜りたくお願い申し上げます。

平成9年6月

社団法人 日本ウェイトリフティング協会
会長 林 克也

加入申込要領

賛助会員 (この法人の事業を援助する個人又は法人)

1. 会 費 年額 1口 5,000円 1口以上

2. 申込方法

(1) 別紙申込通知票に記入うえ、最寄りの郵便局で払い込み下さい。

(2) 直接加入申込みをする場合は、下記まで。

〒150-50 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館内

(社)日本ウェイトリフティング協会

T E L 03-3481-2359

3. 申込通知票

払込通知票													
通常払込料金 加入者負担													
支票番号	千	万	千	百	十	千	百	十	万	千	百	十	円
00140-4-	1	2	9	5	7	6							
加入者名	社団法人日本ウェイトリフティング協会 賛助会員係												
払込人住所氏名	(郵便番号) 備考 受付局日附印												
支票番号	千	万	千	百	十	千	百	十	万	千	百	十	円
00140-4-	1	2	9	5	7	6							
加入者名	社団法人日本ウェイトリフティング協会 賛助会員係												
払込人住所氏名	備考 受付局日附印												

各欄の*印欄は、払込人において記載してください。

この払込通知票は、機械で使用しますので、下部の欄を汚さないよう特に御注意ください。また、本票を折り曲げたりしないでください。(郵政省)

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないで郵便局にお出し下さい。

平成 8 年度贊助会員名簿

(北海道) 今野 澄男、岡田 晃	(愛知県) 野牧 一雄
(青森県) 秋山 正雄、大沢 春彦	(滋賀県) 米田 久男、佐々木 巍、二柳 順蔵
(秋田県) 下坂 義昭、白川 賢一、佐藤 義樹、 一ノ関史郎、小林 努	(京都府) 大森 康正、上田 貢
(山形県) 原田 秀明	(奈良県) 北 実、藤田 昌輝、島田 好人、 植田 昭典
(福島県) 菊地 俊美	(大阪府) 阪上 勝美、杉浦 勉、舟戸 良裕
(群馬県) 岩崎 賢二	(兵庫県) 鴻池 祥肇、八木 勇蔵、生瀬 佳一、 佐野 隆、藤代 充彦、横山 信仁、 横山 信夫、篠田 健治、岡上 国治、 園家 恭一、山口 晋、阪田 幸次、 小高 正宏、町枝 一夫、河島 完治、 林 宏介、大橋 達夫、永穂 康弘、 島田 隆宏、宮下 克明、久保 敬、 藤田 利幸、生瀬 俊秀、山平 芳樹、 中西 正明、松本伊智朗、中川 和実、 岡野 文雄、河野 征弘、森山 年章、 藤本 幸広、吉川 英治、深谷 幸二、 馬本 雅之、岸田 謙二、鶴澤 隆治、 増本 哲史、関野 卓正、井藤 秀治、 淡路農業高校WL部後援会
(埼玉県) 林 克也、古賀 弘、高橋 正義、 三木 功司、三宅 義行、 関東トナミ運輸株式会社、佐藤 孝司、 我孫子 薫、桜井 勝利、継岡 正章、 阿部 太、佐藤栄太郎、豊田 廣和、 木村 春彦、長谷場久美、加藤 仁、 三宅 義信、埼玉栄高校、エイトプラン	(千葉県) 三石 悅雄、大澤 一治、高橋 靖夫、 千本松隆俊、仁科健太郎、篠宮 稔
(東京都) 紫坂 總七、大橋 正哉、川崎 英俊、 三瓶 紘正、鈴木 幸宏、関口よう子、 明宏印刷 kk、加藤 芳樹、山本 勝人、 朴 容琳、(株)ササキスポーツ、 細谷 治朗	(岐阜県) 広瀬 勝正
(山梨県) 村田 一朗、小宮山哲雄、島袋 隆之、 山梨県WL協会	(鳥取県) 畑中 敏雄、西本宣充後援会
(富山県) 曾根 善一、大西 久俊、古橋 一夫	(岡山県) 三宅 俊次
(石川県) 長界 幸男、山本 道生、沢田 喬、 中島 俊幸	(広島県) 日吉富美夫、真野 正
(福井県) 池野 友彦、森本 信二、 福井県WL協会	(徳島県) 藤原 八郎
	(福岡県) 仰木 重利、守 昌宏
	(大分県) 中島 豊、武藤 久太
	(宮崎県) 児玉 雅亘、赤星 宏一、野間 優

第27回オリンピック競技大会（2000年シドニー大会）

ウェイトリフティング競技について

1997年5月28日南アフリカ、ケープタウンで（Royal Atantic Hotel）世界ウェイトリフティング連盟（IWF）総会が開催され、2000年シドニー大会の男女競技の参加及び新階級の実施とオリンピック出場資格（予選会）方法について、次のとおり決定した。

1 新階級

男子 56kg 62kg 69kg 77kg 85kg 94kg 105kg +105kg 以上 8 階級
女子 48kg 53kg 58kg 63kg 69kg 75kg +75kg 以上 7 階級

新階級は、1998年1月1日から実施する。

2 2000年シドニーオリンピック予選方法

シドニー大会は、男子8階級女子7階級で実施する。

(1)シドニー大会出場総選手数は、男女合わせて250名。

内訳 男子170名 女子70名 wild card10名 計250名

(2)男子予選方法と参加資格付与数

ア) 1999年世界選手権大会で予選会を実施し、国別対抗戦31位までの国に参加資格を与える。

'99世界大会	資格獲得数	資格獲得総数	合計
1～6位	8名	6×8名	48名
7～12位	6名	6×6名	36名
13～18位	5名	6×5名	30名
19～24位	3名	6×3名	18名
25～31位	2名	7×2名	14名
計			146名

146名決定。

イ) 地域大会（大陸大会）で予選会を実施し、次表のとおり参加資格を与える。この大会はオリンピック開催年の5月31日までに終了するものとする。

地域大会	資格獲得数（国数）	計
アフリカ地区 1位～3位	3ヶ国－3名 (各国1名)	3名
アジア地区 1位国 2位～4位	4ヶ国5名 1位国2名 2・3・4位国－各1名	2名 3名
ヨーロッパ地区 1位国 2位～4位	4ヶ国5名 1位国2名 2・3・4位国－各1名	2名 3名
北米地区 1位～4位	4ヶ国4名 各国－各1名	4名
オセアニア地区 1位～4位	4ヶ国4名 各国－各1名	4名
南米地区 1位～3位	3ヶ国3名 各国－各1名	3名
計		24名

24名決定。

(3)女子予選方法と参加資格付与

ア) 1999年世界選手権大会でオリンピック予選会を実施し、国別対抗戦18位の国まで参加資格を与える。

'99世界大会	資格獲得数	資格獲得総数	合 計
1～6位	4 名	6×4名	24名
7～12位	3 名	6×3名	18名
13～18位	2 名	7×2名	12名
計			54名

54名決定。

イ) 地域大会を実施し、次表のとおり24名の出場資格を与える。

大会期日は、男子と同じ。

地域大会	資格獲得数（国数）	計
アフリカ地区 1位～3位	3ヶ国 各国1名	3名
アジア地区 1位～2位	2ヶ国 各国1名	2名
ヨーロッパ地区 1位～2位	2ヶ国 各国1名	2名
北米地区 1位～4位	2ヶ国 各国1名	2名
オセアニア地区 1位～4位	3ヶ国 各国1名	3名
南米地区 1位～3位	3ヶ国 各国1名	3名
計		16名

16名決定。

国際大会・全国大会開催地一覧表

[注] 地名の前の数字は大会回数

年代	国際大会			全国大会									
	西暦 年号	世界選手権 合利バック①日本	アジア 競技大会	ジュニア 世界選手権	国體	全日本	高校選手権	大学対抗	社会人 実業団	マスターズ全日本Jr	高校選抜	全国女子	全国中学生
1946 S21	フランス パリ				1 京都 京都市	6 京都 京都市							
1947 S22	アメリカ フィラデルフィア				2 石川 金沢市	7 石川 金沢市							
1948 S23	⑪イギリス ロンドン				3 福岡 戸畠市	8 福岡 戸畠市							
1949 S24	オランダ ハーグ				4 東京 東京	9 東京 東京							
1950 S25	フランス パリ				5 愛知 名古屋市	10 愛知 名古屋市							
1951 S26	イタリア ミラノ	1 インド ニューデリー			6 広島 三原市	11 広島 三原市							
1952 S27	⑫15 フィンランド ヘルシンキ				7 福島 平市	12 福島 平市							
1953 S28	スウェーデン ストックホルム				8 愛媛 新居浜市	13 大阪 大阪市							
1954 S29	オーストリア ウィーン	2 フィリピン マニラ			9 北海道 小樽市	14 徳島 徳島市	1 徳島 徳島市						
1955 S30	西ドイツ ミュンヘン				10 神奈川 川崎市	15 富山 滑川市	2 山口 下関市	1 東京 中野区					
1956 S31	⑬16オーストリア メルボルン				11 兵庫 尼崎市	16 栃木 宇都宮市	3 福島 平市	2 東京 千代田区					
1957 S32	イラン テヘラン				12 静岡 清水市	17 東京 東京	4 北海道 札幌市	3 東京 港区					
1958 S33	スウェーデン 東京	3 日本			13 富山 滑川市	18 東京 東京	5 秋田 秋田市	4 東京 千代田区					
1959 S34	ボーランド ワルシャワ				14 東京	19 愛媛 東京	6 岡山 新居浜市	5 東京 金光町					
1960 S35	⑭17イタリア ローマ				15 熊本 宇土市	20 秋田 昭和町	7 富山 富山市	6 東京 渋谷区					
1961 S36	オーストリア ウィーン				16 秋田	21 新潟 昭和町	8 宮城 黒崎町	7 東京 仙台市					
1962 S37	ハンガリー ブダペスト	4 インドネシア ジャカルタ			17 岡山	22 東京 金光町	9 栃木 東京	8 東京 宇都宮市					
1963 S38	スウェーデン ストックホルム				18 山口	23 東京 下関市	10 徳島 東京	9 東京 徳島市	1 東京 渋谷区				
1964 S39	⑯18日本 東京				19 新潟	24 岩手 黒崎町	11 岐阜 江刺市	10 東京 土岐市					
1965 S40	イラン テヘラン				20 岐阜	25 埼玉 土岐市	12 大分 羽生市	11 東京 湯布院町	2 秋田 墨田区				
1966 S41	東ドイツ 東ベルリン	5 タイ バンコク			21 大分	26 大分 湯布院町	13 青森 湯布院町	12 東京 石黒町	3 茨城 大田区				
1967 S42	東京(中止)				22 埼玉	27 岩手 羽生市	14 福井 江刺市	13 東京 坂井町	4 神奈川 墨田区				
1968 S43	⑯19メキシコ メキシコ市				23 福井	28 岐阜 坂井町	15 広島 土岐市	14 東京 府中市	5 長崎 大田区				
1969 S44	ポーランド ワルシャワ				24 長崎	29 秋田 松浦市	16 群馬 秋田市	15 東京 鹿児島市	6 埼玉 大田区				
1970 S45	アメリカ コロンバス	6 タイ バンコク			25 岩手	30 兵庫 江刺市	17 和歌山 尼崎市	16 東京 串本町	7 千葉 大田区				
1971 S46	ベルギー リマ				26 和歌山	31 鹿児島 串本町	18 徳島 垂水市	17 東京 鶴島町	8 山梨 大田区				
1972 S47	⑯20西ドイツ ミュンヘン				27 鹿児島	32 千葉 垂水市	19 福島 船橋市	18 東京 いわき市	9 三重 茨谷区				
1973 S48	キューバ ハバナ				28 千葉	33 茨城 船橋市	20 三重 北茨城市	19 東京 龜山市	10 宮崎 茨谷区				
1974 S49	フィリピン マニラ	7 イラン テヘラン			29 茨城	34 青森 北茨城市	21 福岡 平賀町	20 東京 北九州市	11 佐賀 茨谷区				
									2 有田町				

年代	国際大会			全 国 大 会										
	西暦 年号	世界選手権 合オリンピック◎印	アジア 競技大会	ジュニア 世界選手権	国 体	全 日 本	高校選手権	大学対抗	社会人 実業団	マスターズ	全日本 Jr	高校選抜	全国女子	全国中学生
1975 S50	ソ連 モスクワ	1 フランス	30 三 重	35 千 葉	22 山 犀	21 東 京	12 長 野							
1976 S51	②1 カナダ モントリオール	2 ポーランド グダニスク	31 佐 賀	36 神奈川	23 長 野	22 東 京	13 神奈川							
1977 S52	ミュンヘン 西ドイツ	3 ブルガリア ソウイア	32 青 森	37 四 山	24 岡 山	23 東 京	14 愛 知							
1978 S53	アメリカ ゲチスバーグ	8 タ イ バンコク	33 長 野	38 埼 玉	25 山 形	24 東 京	15 沖 縄							
1979 S54	ギリシャ アテネ	4 ギリシャ デブレセン	34 宮 崎	39 群 馬	26 兵 庫	25 東 京	16 栃 木							
1980 S55	②22 ソ連 モスクワ	6 カナダ モントリオール	35 桜 木	40 千 葉	27 愛 媚	26 東 京	17 滋 賀			1 山 犀				
1981 S56	フランス リール	7 イタリア トリエステル	36 滋 賀	41 茨 城	28 群 馬	27 千 葉	18 島 根			2 東 京				
1982 S57	ヨーロッパビト リョーブリアナ	9 インド ニューデリー	37 島 根	42 埼 玉	29 鹿児島	28 埼 玉	19 群 馬			3 東 京				
1983 S58	ソ連 モスクワ	9 エジプト カイロ	38 群 馬	43 埼 玉	30 愛 知	29 埼 玉	20 奈 良	1 奈 良	4 東 京					
1984 S59	②23アメリカ ロサンゼルス	10 イタリア リグナーノ	39 奈 良	44 埼 玉	31 秋 田	30 埼 玉	21 鳥 取	2 鳥 取	5 埼 玉					
1985 S60	スウェーデン セダテリエ	11 イギリス エジンバラ	40 鳥 取	45 兵 庫	32 石 川	31 埼 玉	22 山 犀	3 山 犀	6 埼 玉					
1986 S61	ブルガリア ソフィア	10 韓 国 ソウル	41 山 犀	33 山 口	33 山 口	32 埼 玉	23 沖 縄	4 沖 縄	7 埼 玉	1 神奈川				
1987 S62	②コスロバキア オストラバ	13 コスロバキア ベルクラード	42 沖 縄	47 群 馬	34 北海道	33 埼 玉	24 京 都	5 京 都	8 埼 玉	2 埼 玉	1 神奈川	1 埼 玉		
1988 S63	②24 韓国 ソウル	14 ギリシャ アテネ	43 京 都	48 埼 玉	35 兵 庫	34 埼 玉	25 北海道	6 北海道	9 埼 玉	3 愛 知	2 埼 玉	2 埼 玉		
1989 H 1	ギリシャ アテネ	15 アメリカ フロリダ	44 北海道	49 埼 玉	36 徳 島	35 埼 玉	26 福 岡	7 福 岡	10 埼 玉	4 兵 庫	3 東 京	3 山 形		
1990 H 2	ハンガリー ブダペスト	16 コスロバキア サラエボ	45 福 岡	50 東 京	37 宮 城	36 埼 玉	27 石 川	8 石 川	11 埼 玉	5 山 犀	4 埼 玉	4 愛 知		
1991 H 3	西ドイツ ドナウエッセン	17 ドイツ マグデブルク	46 石 川	51 東 京	38 静 岡	37 埼 玉	28 山 形	9 北海道	12 埼 玉	6 石 川	5 北海道	5 徳 島		
1992 H 4	②25スペイン バルセロナ	18 ブルガリア バルナ	47 山 形	52 千 葉	39 宮 城	38 埼 玉	29 徳 島	10 徳 島	13 埼 玉	7 千 葉	6 埼 玉	6 桜 木		
1993 H 5	オーストラリア メルボルン	19 チェコ ヘブ	48 徳 島	53 千 葉	40 桜 木	39 埼 玉	30 愛 知	11 愛 知	14 埼 玉	8 愛 知	7 馬 須	7 馬 須		
1994 H 6	トルコ イスタンブール	20 インドネシア 広 島	49 桜 木	54 東 京	41 富 山	40 埼 玉	31 福 岛	12 福 岛	15 埼 玉	9 茨 城	8 東 京	8 大 阪		
1995 H 7	中国 広 州	21 ポーランド ワルシャワ	50 福 岛	55 福 岛	42 岡 田	41 埼 玉	32 広 島	13 広 島	16 埼 玉	10 京 都	9 福 岛	9 茨 城		
1996 H 8	②26アメリカ アトランタ	22 ポーランド ワルシャワ	51 広 島	56 埼 玉	43 山 犀	42 埼 玉	33 大 阪	14 兵 庫	17 埼 玉	11 兵 庫	10 埼 玉	10 神奈川		
1997 H 9	タ イ チェンマイ	23 南ア共和国 ケープタウン	52 大 阪	57 羽曳野市	44 京 都	34 神奈川								
1998 H 10	フィンランド ラ テ ー	13 タ イ バンコク	53 神奈川	58 真 鶴 町	45 香 川	35 熊 本								
1999 H 11			54 熊 本	59 鎌 町	46 岩 手	36 富 山								
2000 H 12	シドニー		55 富 山	60 清 川 市	47	37 宮 城								
						28 柴 田 町								

日本ウエイトリフティング協会の沿革

1932年 (昭7年)	第2回全朝鮮力道大会に飯田徳蔵、若木竹丸、飯田一郎が招待される。
1933年 (昭8年)	嘉納治五郎 IOC委員、オーストリアでバーベルを購入
1934年 (昭9年)	国際基準バーベル文部省体育研究所に搬入 体育研究所の安東能夫氏ルールの翻訳にあたる。
1936年 (昭11年)	競技規則刊行 わが国初の競技会第1回東京市民重量挙大会開催 第1回全日本選手権大会を全日本体操連盟の下に開催、韓国から金容星、金晟集選手を招待、この日、日本重量挙連盟結成
1937年 (昭12年)	日本重量挙連盟発会式を挙行、三島通陽初代会長就任 協会事務所を文部省国民体育館に置く 第9回明治神宮体育大会に重量挙参加
1938年 (昭13年)	大日本体育協会加盟 国際重量挙連盟加盟 第3回全日本選手権大会でフェザー級南寿逸プレス、スナッチで世界記録樹立
1939年 (昭14年)	第4回全日本選手権大会で、フェザー級南寿逸3種目で世界記録樹立
1940年 (昭15年)	第12回東京オリンピック大会中止
1941年 (昭16年)	岸記念体育会館落成、競技団体事務所となる 大東亜戦争勃発 日本重量挙連盟解散
1942年 (昭17年)	大日本体育協会改組で大日本体育会発足
1945年 (昭20年)	第2次世界大戦終結
1946年 (昭21年)	日本ウエイトリフティング協会として再結成 第1回国民体育大会へ第6回全日本大会を兼ね参加
1948年 (昭23年)	憲法発布記念演技会へ重量挙参加
1949年 (昭24年)	国際ウエイトリフティング連盟再加盟 第2代小西英雄会長就任
1951年 (昭26年)	第1回アジア競技大会(ニューデリー)、協会初の国際大会参加、Fe級井口幸男、L級窪田登 3位入賞 日米親善大会(ハワイチーム招待)を開催
1952年 (昭27年)	日米親善大会でハワイへ日本チーム遠征 第15回オリンピック大会(ヘルシンキ)にバンタム級白石勇出場
1953年 (昭28年)	国民体育大会に兼ねた全日本選手権大会が分離開催
1954年 (昭29年)	第1回全国高校選手権を徳島県で開催 全日本学生連盟結成
1955年 (昭30年)	公認審判員制度の導入 第1回全日本学生選手権大会開催 第3代大谷米太郎会長就任

1956年 (昭31年)	第16回オリンピック大会（メルボルン）で大沼賢治（L級）4位、白鳥博義（F e級）5位、南部良雄（B級）6位入賞 第4代加藤高蔵会長就任
1957年 (昭32年)	世界選手権大会（テヘラン）、日本初参加 中国の招待で北京市外に遠征、日中友好大会開催 第5代川名勇会長就任
1958年 (昭33年)	第3回アジア大会東京開催、B級小暮茂夫、初の金メダル獲得 第6代矢下治藏会長就任
1959年 (昭34年)	全国高体盟、ウエイトリフティング部会の加盟承認 第14回国民体育大会でB級三宅義信、スナッチ、L級山崎弘ジャーカーで日本人初の世界記録樹立 第7代西川正一会長就任
1960年 (昭35年)	第17回オリンピック大会（ローマ）、B級三宅義信、初の銀メダル獲得 第15回国民体育大会に高校の部が新設
1961年 (昭36年)	世界選手権大会でF e級三宅義信、初の銅メダル獲得
1962年 (昭37年)	第4回アジア大会（ジャカルタ）、重量挙げ招待国問題で、競技中止 世界選手権大会（ブダペスト）、B級三宅義信、世界記録で金メダル
1963年 (昭38年)	東京国際スポーツ大会（フレ五輪）東京開催 第1回全日本社会人大会開催
1964年 (昭39年)	第18回オリンピック大会（東京）、F e級三宅義信優勝 B級一ノ関四郎、M級大内仁3位銅メダル、外全員入賞果たす
1965年 (昭40年)	世界選手権大会（テヘラン）、F e級三宅義信、金、B級一ノ関史郎が銀 F e級三宅義行が銅メダル獲得
1966年 (昭41年)	第1回日韓親善大会始まる 世界選手権大会（ベルリン）、F e級で三宅（兄）金、三宅（弟）が銅、兄弟で表彰台に上る
1967年 (昭42年)	世界選手権大会東京開催返上、中止となる
1968年 (昭43年)	第19回オリンピック大会（メキシコ）、F e級三宅義信金メダル、義行（弟）3位銅メダル、M級大内仁、銀メダルに輝く
1969年 (昭44年)	世界選手権大会（ワルシャワ）、F e級三宅義行、L H級大内仁、金メダルで2階級を制す 第29回全日本選手権大会にソ連チームが参加
1970年 (昭45年)	協会法人化組織が評議員会で決議、基本金募集活動始まる 世界選手権大会（コロンバス）、B級安藤謙吉銀メダル、F e級三宅義行3位入賞するがドーピングで失格処分となる 第6回アジア大会（バンコック）、4階級で優勝 日本、ポーランド友好大会を東京で開催
1971年 (昭46年)	世界選手権大会（リマ）、F e級三宅義行金、安藤謙吉銀メダル、IWF総会で三宅義行のドーピングは処分撤回、名誉回復となる
1972年 (昭47年)	第20回オリンピック大会（ミュンヘン）、日本メダルを逸す IWF総会でプレス種目の廃止が決定
1973年 (昭48年)	世界選手権大会でB級三木功司がスナッチで世界記録樹立、銅メダル 第1回実業団大会開催
1974年 (昭49年)	第7回アジア大会（テヘラン）、4階級で優勝 社団法人の認可を受ける

1975年 (昭50年)	日中友好大会開催 第1回ジュニア世界大会開催（マルセイユ）、日本参加 世界選手権大会でF級竹内稚朝スナッチで世界記録樹立
1976年 (昭51年)	五輪代表選手選考で全国総会は選手の入れ替えを決議す 第21回オリンピック大会B級安藤謙吉、F級平井一正、銅メダル獲得
1977年 (昭52年)	世界選手権大会（ドイツ）、56kg級細谷治朗金メダル獲得 全日本選手権大会を兼ね、日ソ友好大会を岡山で開催 階級呼称変更でキログラム級となり、52kg級から+110kgの10階級となる
1978年 (昭53年)	世界選手権大会（米国）、60kg級斎藤隆銀メダル、56kg級安藤謙吉銅メダル 第8回アジア大会（バンコク）、日本3階級で優勝
1979年 (昭54年)	第11回アジア選手権大会東京開催 第1回日韓ユース（高校）親善大会開催 スパーべビ一級招待大会を東京で開催 世界選手権大会（ギリシャ）、60kg級後藤節哉銅メダル 第8代小宮山英蔵会長就任 第9代小宮山重四郎会長就任
1980年 (昭55年)	第1回全日本ジュニア選手権大会開催（山梨県） 第22回オリンピック大会（モスクワ）、不参加決定、幻の代表選手団となる 五輪代替大会として、五輪代表選手をアメリカンカップ及び上海国際大会へ派遣
1981年 (昭56年)	第13回アジア選手権大会を名古屋で開催 世界選手権大会（フランス）52kg級真鍋和人銅メダル
1982年 (昭57年)	全日本選手権大会（埼玉）で、90kg級砂岡良治日本人初のジャーク200kgリフターとなる 第8回ジュニア世界大会で、82.5kg級砂岡良治銀メダル、56kg級原徹銅メダル獲得 第9回アジア大会（ニューデリー）2階級優勝に留まり、中国にトップの座を譲る
1983年 (昭58年)	第1回ジュニアアジア選手権大会、埼玉で開催 第1回全日本マスターズ大会、全日本社会人大会を兼ね、奈良県で開催 IWFWORLDカップを東京で開催
1984年 (昭59年)	第23回オリンピック大会（ロサンゼルス）、52kg級真鍋和人、56kg級小高正宏、82.5kg級砂岡良治が銅メダル 国際スポーツフェア、招待競技会を東京で開催
1985年 (昭60年)	初心者を対象とした採点制競技会を導入
1986年 (昭61年)	第1回全国高等学校選抜大会、神奈川県で開催 第10回アジア競技大会（ソウル）、82.5kg級砂岡良治、アジア新で金メダル
1987年 (昭62年)	第19回アジア選手権大会を埼玉県で開催 第1回全国中学大会を埼玉県で開催 第1回全国女子大会を神奈川県で開催 第1回世界女子選手権大会（米国）へ選手派遣
1988年 (昭63年)	第24回オリンピック大会（ソウル）5位入賞に留まる 第1回アジア女子選手権大会（ジャカルタ）へ派遣 世界のトップリフター招待による東京カップを東京で開催
1989年 (平成元年)	協会創立50周年記念式を東京で挙行 第3回世界女子選手権大会（イギリス）で、52kg級植村ひろみ銀メダル、ブルガリアナショナルコーチ、ヤンコ・ルセフを招聘
1990年 (平成2年)	第11回アジア大会（北京）、女子競技が新設、44kg級斎藤さと美、67.5kg級長谷場久美が銀メダル

1991年 (平成3年)	IWF第25回オリンピック大会出場資格方法の変更を各N.F.へ通達 第23回アジア選手権大会を茨城県で開催
1992年 (平成4年)	第25回オリンピック大会（バルセロナ）、大会直前、出場選手全員を対象にIWFはドーピング検査実施、56kg級佐久間勝彦の5位に終る IWF総会（スペイン）で、階級変更が決定
1993年 (平成5年)	第1回東アジア大会（上海）参加 世界女子選手権大会（メルボルン）、女子70kg級長谷場久美銀メダル 日・韓・中3ヶ国によるインターナショナルフレンドシップトーナメントを群馬県で第1回大会として開催
1994年 (平成6年)	第12回アジア大会（広島）、史上最大の規模で開催、旧ソ連中央アジアの国々が初参加
1995年 (平成7年)	IWF第26回オリンピック大会出場資格方法の変更を各N.F.へ通達、ナショナルチームのIWF登録を義務づける 第1回ジュニア女子アジア選手権大会（中国）へ派遣 世界選手権大会（中国）兼五輪世界予選会で日本7名の資格獲得 第10代林克也会長就任
1996年 (平成8年)	第26回オリンピック大会（アトランタ）、2階級で日本新記録を更新するが、59kg級池畠大4位に終る 第28回アジア選手権大会兼男子五輪アジア地区予選会を千葉県八千代市で開催 日・韓・中3ヶ国、インターナショナルフレンドシップトーナメントを千葉市で開催 IWF総会（アテネ）で開催、2000年シドニー大会女子競技参加が確認



通常総会にて 桜井専務理事

平成9年6月1日

支部協会会长殿

(社) 日本ウエイトリフティング協会
専務理事 櫻井勝利

協会60年史購入申込について

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、本協会事業にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昭和11年（1936年）5月に、日本重量拳競技連盟として結成以来、早いもので平成8年（1996年）で60周年の節目を迎えました。

これまでの歴史を下記内容にて記録に留め、長く後世に伝承するために60年史を本年4月に発刊いたします。

60年史は限定版とし、有料にて頒布いたします。お名前が掲載されている方には是非購入していただきたいと思っております。

より多くの方々に購入いただき、将来の発展のために役立てていただければ幸いに存じます。

つきましては、別紙にて購入希望調査をいたしますので6月末日まで（社）日本ウエイトリフティング協会までご連絡をお願いいたします。

記

- | | |
|---------|---|
| 1. 体裁 | A4版 |
| 2. ページ数 | 約800ページ |
| 3. 内容 | (1) 写真集
(2) 日本協会60年のあゆみ
(3) 47都道府県の沿革
(4) 大会参加記録
① 国内大会
② 国際大会
(5) 公認記録
(6) 年表
(7) 階級・種目の変遷
(8) 役員名簿 |
| 4. 金額 | 1部：1万円 |
| 5. 連絡先 | 東京都渋谷区神南1-1-1
岸記念体育会館内 TEL03-3481-2359
FAX03-3481-2394 |

(参考)

(社)日本WL協会60周年記念誌 申し込み書

兵庫県WL協会 購入希望者名簿 97. 5. 6 現在

No	氏名	〒	現住所	電話番号	所属名	希望冊数
1	鴻池祥肇	6 6 1	尼崎市武庫之荘4-3-2	06-431-1212	参議院議員	1 冊
2	八木勇藏	6 7 3	明石市日富美町7-18	078-911-5209	神戸文化短期大学	1 冊
3	生頬佳一	6 7 3	明石市西明石北町3-5-8	078-928-2663	自営	1 冊
4	佐野 隆	6 7 3	明石市松江758	078-922-9407	県立三木東高校(教)	1 冊
5	藤代充彦	6 6 3	西宮市甲子園2番町6-17	0798-46-9371	尼崎市教育委員会	1 冊
6	横山信仁	6 5 5	神戸市垂水区歌敷山4-1-12	078-783-2765	県立須磨友が丘高校	1 冊
7	森山年章	6 6 0	尼崎市東難波町3-19-28	06-482-5179	県立伊丹北高校(教)	1 冊
8	池内淳	6 5 9	芦屋市浜風7-4-1	0797-32-3521	神戸科学専門学校	1 冊
9	篠田健治	6 7 4	明石市大久保町高丘4-1-38	078-935-8712	県立明石南高校(教)	1 冊
10	岡上国治	6 7 8	相生市山手1-57教住502号	07912-2-2521	県立姫路南高校(教)	1 冊
11	園家恭一	6 7 5	加古川市加古川町寺家町244-44	0794-25-5414	県立舞子高校(教)	1 冊
12	鶴澤隆治	6 7 5	加古川市野口町野口35-1プレステージ103	0794-26-5341	東亜経理専門学校(教)	1 冊
13	阪田幸次	672-01	飾磨郡家島町宮1793-3-202	07932-5-0306	県立家島高校(教)	1 冊
14	山口晋	6 5 6	洲本市大野1077-7	0799-24-3707	県立洲本実業高校(教)	1 冊
15	小高正宏	6 7 3	明石市川崎町2-13-647	078-927-9755	県立津名高校(教)	1 冊
16	宮下克明	6 5 0	神戸市中央区港島中町3-2-6エバーグリーン401	078-302-5964	(株)朝日セキュリティシステム	1 冊
17	大橋達夫	6 6 5	神戸市垂水区塩屋町5-17-2マンションB-203	078-752-1636	自営“ミツワヤ”	1 冊
18	永穂康弘	6 6 0	尼崎市今福1-3NTT今福1-202	06-401-1200	NTT兵庫設備建設センター	1 冊
19	河島完治	651-21	神戸市西区玉津町高津橋423-8	078-913-3595	県立いなみ野養護学校教	1 冊
20	島田隆宏	673-05	三木市志染町西自由が丘2-371-16-102	07948-7-1471	県立有馬高校(教)	1 冊

No	氏名	〒	現住所	電話番号	所属名	希望冊数
21	林 宏介	6 7 4	明石市二見町西二見661-89-教住1-305	078-944-2717	県立神戸工業高校(教)	1 冊
22	久保 敬	651-21	神戸市西区学園東町6-8-4	078-794-3332	県立淡路農業高校(教)	1 冊
23	生頬俊秀	6 7 3	明石市西明石北町3-5-8	078-928-2663	県立明石北高校(教)	1 冊
24	竹下彰彦	6 6 1	尼崎市次屋1-7-32	06-498-6133	(株)秋永製作所	1 冊
25	竹村信吾	5 5 0	大阪市西区江ノ子島1-10-15-504	06-441-3800	尼崎市役所	1 冊
26	花立敏行	656-15	津名郡一宮町柳沢戊259-6	0799-86-1300	淡路スポーツ	1 冊
27	大口節郎	660	尼崎市長州中通2-6-74	06-401-2614	(株)神崎高級工機	1 冊
28	上村琢	654-01	神戸市須磨区北落合5-1-337-104	078-794-1631	県立城北高校(教)	1 冊
29	深谷幸三	674	明石市大久保町高丘2-16-11	078-934-1967	県立須磨友が丘高校(教)	1 冊
30	山平芳樹	675-12	加古川市上荘町都台2-10-10	0794-28-2818	県立播磨南高校(教)	1 冊
31	町支一夫	655	神戸市垂水区舞子台8-14-6-203	078-782-3782	自営	1 冊
32	吉川英治	653	神戸市長田区雲雀が丘2-6	078-612-0724	県立尼崎工業高校	1 冊
33	納富俊行	661	尼崎市武庫町1-54-1-401	06-436-6716	県立尼崎工業高校	1 冊

合計 33冊 330,000円

上記の金額5月7日銀行口座に確かに振り込みました。

責任者 兵庫県ウェイトリフティング協会

理事長 佐野 隆

協会 60 年史購入申込書

平成 9 年 月 日

ウエイトリフティング協会

記載責任者名

印

下記のとおり申し込みいたします。

記

都道府県名		記	
No.	氏名	No.	氏名
1		21	
2		22	
3		23	
4		24	
5		25	
6		26	
7		27	
8		28	
9		29	
10		30	
11		31	
12		32	
13		33	
14		34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38	
19		39	
20		40	

記号説明

新記録

W R : 世界新記録 (new World Record)

J W R : ジュニア世界新記録 (Junior new World Record)

A R : アジア新記録 (new Asian Record)

N R : 日本新記録 (new Japan National Record)

J N R : ジュニア日本新記録 (Junior new Japan National Record)

U R : 大学新記録 (new University Record)

H R : 高校新記録 (new senior Highschool Record)

M R : 中学新記録 (new Middle school Record)

C R : 大会新記録 (new Competition Record)

タイ記録

W S : 世界タイ記録 (World record Same)

J W S : ジュニア世界タイ記録 (Junior World record Same)

A S : アジアタイ記録 (Asian record Same)

N S : 日本タイ記録 (Japan National record Same)

J N S : ジュニア日本タイ記録 (Junior Japan National Record Same)

U S : 大学タイ記録 (University record Same)

H S : 高校タイ記録 (senior Highschool record Same)

M S : 中学タイ記録 (Middle school record Same)

C S : 大会タイ記録 (Competition record Same)

記録協力 笠原 達夫 • 写真協力 仁科 健太郎

ウェイトリフティング No.68

(社)日本ウェイトリフティング協会会報

発行日 平成9年6月30日

発行者 (社)日本ウェイトリフティング協会
普及委員会

〒150-50 東京都渋谷区神南1-1-1

岸記念体育会館内

T E L 03-3481-2359

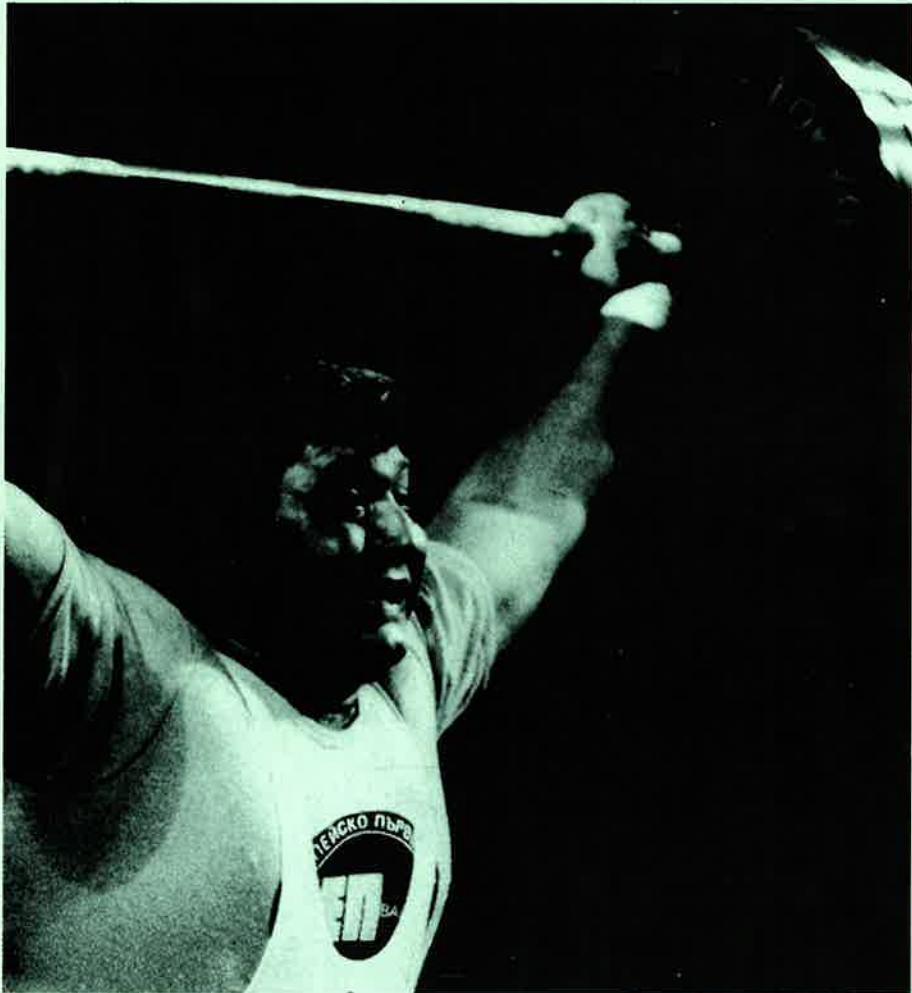
F A X 03-3481-2394

編集責任者 専務理事 桜井 勝利

編集委員 理事 繼岡 正章

UESAKA

OFFICIAL BARBELL.



公認



認定工場
INTERNATIONAL WEIGHTLIFTING FEDERATION

国際ウエイトリフティング連盟認定工場
日本ウエイトリフティング協会公認器具製造販売

日本アマチュアボクシング連盟
日本体操協会器械器具
日本バスケットボール協会施設
日本バドミントン協会
日本ハンドボール協会
日本陸上競技連盟検定品製作

製造元



上坂鉄工所

本社 〒130 東京都墨田区本所4丁目28番8号
電話 (03)3622-8171(代表)

販売元

(株)ウエサカ ティー・イー
代表取締役 鈴木 義夫
〒130 東京都墨田区本所4丁目28番8号
TEL (03)3622-8171 FAX (03)3622-8175
振込銀行 さくら銀行 本所(当) 57201